令和８年度

第３年次編入学生選抜

学生募集要項

情報工学部

国立大学法人
九州工業大学

本学生募集要項の内容に変更が生じた場合は，速やかに本学ホームページにてお知らせします。

○入試に関する重要なお知らせ
https://www.kyutech.ac.jp/examination/

第３年次編入学生選抜　出願から入学手続までの流れ

選抜方法・選考方法・出願資格・出願期間・日程等を確認する

↓

提出書類を確認・準備する

↓

インターネット出願サイトから出願情報を登録する

インターネット出願登録開始日時：令和７年５月７日（水）９時～

↓

入学検定料を支払う

入学検定料のお支払い前に登録情報に誤りがないかよくご確認ください。
支払いにはクレジットカード，コンビニ，銀行ATM(ペイジー)，ネットバンキングが利用できます。

↓

提出書類を郵送または持参する

提出期限：令和７年５月１９日（月）１７時【必着】

↓

第３年次編入学生選抜問題の解答を提出する

提出期限：令和７年６月６日（金）【当日消印有効】

↓

受験票を印刷する

受験票の公開日時：令和７年６月１３日（金）１５時～

↓

試験を受ける

令和７年６月２１日（土）・２２日（日）のいずれか１日

↓

合格発表を確認する

令和７年７月３日（木）１０時～

↓ 合格者

第１次入学手続を行う

令和７年９月１２日（金）１７時【必着】

↓

第２次入学手続を行う

令和８年２月１８日（水）１６時３０分【必着】

目　　　　　次

九州工業大学のアドミッションポリシー ･････････････････････････････････････ １
　１．募集人員及び選抜方法 ･････････････････････････････････････ ２
　２．出願資格 ･････････････････････････････････････ ３
　３．試験日及び試験場 ･････････････････････････････････････ ３
　４．選考方法等 ･････････････････････････････････････ ３
　５．編入学年次 ･････････････････････････････････････ ６
　６．履修及び修業年限 ･････････････････････････････････････ ６
　７．第３年次編入学生の単位認定等 ･････････････････････････････････････ ６
　８．学科及びコースの選択方法 ･････････････････････････････････････ ６
　９．出願手続及び出願期間等 ･････････････････････････････････････ ７
１０．出願上の注意事項 ･････････････････････････････････････ ３０
１１．障がい等を有する入学志願者の配慮に関する事前相談 ･････････････････････････････････････ ３１
１２．受験票 ･････････････････････････････････････ ３３
１３．受験上の注意事項 ･････････････････････････････････････ ３４
１４．合格発表 ･････････････････････････････････････ ３４
１５．入学手続 ･････････････････････････････････････ ３４
１６．入学手続時の納付金 ･････････････････････････････････････ ３５
　　◆高等教育の修学支援新制度 ･････････････････････････････････････ ３５
　　◆奨学金制度 ･････････････････････････････････････ ３５
１７．入学試験成績等の開示 ･････････････････････････････････････ ３６
１８．個人情報の取扱い ･････････････････････････････････････ ３６
１９．入学試験に関する問い合わせ先 ･････････････････････････････････････ ３７
２０．安全保障輸出管理 ･････････････････････････････････････ ３７
２１．ノートパソコンの必携 ･････････････････････････････････････ ３７
２２．キャンパス全面禁煙 ･････････････････････････････････････ ３７
２３．情報工学部のアドミッションポリシー ･････････････････････････････････････ ３８
◆各種の資格等 ･････････････････････････････････････ ４０
◆大学院 ･････････････････････････････････････ ４０
◆厚生施設 ･････････････････････････････････････ ４０
◆学生の国際交流 ･････････････････････････････････････ ４１
◆卒業者進路状況 ･････････････････････････････････････ ４２
◆学部の案内 ･････････････････････････････････････ ４３
◆過去の編入学生選抜実施状況 ･････････････････････････････････････ ４７
◆九州工業大学の所在地 ･････････････････････････････････････ ４８
◆試験場までのアクセス ･････････････････････････････････････ ４９

九州工業大学のアドミッションポリシー（入学者受入方針）

建学の精神：技術に堪能（かんのう）なる士君子

今をさかのぼること１１０余年，明治４２年（１９０９年），北九州・戸畑の地（現在の北九州市戸畑区）に九州工業大学の前身である私立明治専門学校が開校しました。戸畑からほど近い八幡の地には明治３４年（１９０１年）に官営八幡製鉄所が設置され，日本の近代化を殖産興業から支えた重要な産業拠点となりました。八幡製鉄所を含む北部九州を中心に現存する歴史的な産業建造物群は２０１５年に「明治日本の産業革命遺産」として世界遺産に登録され，その歴史的価値を世界に認められたことは記憶に新しいところです。

これらの産業施設に魂を込めるべく，日本における技術者（エンジニア）の養成を旗印として，当時の高等教育の巨人，山川健次郎博士を初代総裁として招き，安川敬一郎及び松本健次郎の巨額の寄付のもと設立されたのが明治専門学校です。このときに示されたのが「技術に堪能なる士君子」の養成，すなわち技術に精通するとともに，道義心のある人格者を養成することを目的に，単に学問・技術を授けるのではなく，人間形成にも重点を置いた教育を行うという建学の精神です。本学はその設置形態を私立から官立，そして国立大学へと変えつつも，この建学の精神を脈々と受け継ぎ，明治，大正，昭和，平成を経て，令和の現在に至るまで，日本の近代化，工業化，産業の発展に貢献する，７万人を超える優れた技術者を輩出し続けてきました。

また，昭和６１年（１９８６年）には，情報通信革命が始まる中，日本の情報通信技術を支える技術者を輩出するために，福岡県飯塚市に情報工学部を設置しました。平成１２年（２０００年）には，生命（バイオ）のもつ特性を工学的に活用し２１世紀を支える技術を創出する技術者を輩出するため，北九州市若松区の学研都市内に生命体工学研究科を設置しました。

九州工業大学は，Society5.0 を目指して急速に社会が進展する中で，工学・情報工学・生命体工学の各分野で新たな知識と技術を生み出し続ける研究力を背景としながら，常に日本の産業を支え，世界で活躍できる技術者を育てる学びの場を提供し続けています。そして多くの卒業生が企業の中核技術者や経営者として社会を支え，未来を切り拓いています。

九州工業大学は，「技術に堪能なる士君子」の養成という建学の精神のもと，幅広い理工学分野における教育と研究を通して人類・社会に貢献することを基本理念としています。この理念に則り，「ものづくり」と「情報」における新しい技術と科学の発展のため，深い専門性と幅広い知識・教養，多様な人々と協働するために必要なコミュニケーション力及び技術者として必要な倫理観を備えた人材を育成し，グローバル社会で活躍できる優れた技術者（グローバルエンジニア）としての能力を発展・向上させることを使命としています。

そこで，本学が入学者に期待することは以下のとおりです。

(1) 理工学分野の学修の基盤となる，数学，理科（物理，化学，生物等），情報などの理数系教科・科目に高い学力を持っていること。
(2) 理工系人材として成長する強い意志と，「社会をより良くする何かを残したい，社会の問題を解決したい」という夢をもち続け，自らそのために行動できること。
(3) 国際化に対応できるコミュニケーション力の修得や，様々な文化を理解し受容することに前向きであること。
(4) 自律的な学びから広い視野を持ち，多様な人々と協働することを通して，創意・発見する知の探究を持続する必要性を理解していること。

本学の第３年次編入学生選抜では，理工学分野の学修の基盤となる学力や理数系の思考力・応用力に加え，工学や情報工学に対する知的好奇心や熱意，専門に対する適性を総合的に評価し，３年次からの修学に必要な学力を備え，専門技術者への強い志向を持つ皆さんを受け入れます。

１．募集人員及び選抜方法

学部	学科（コース）	募集人員	選抜方法	
			推薦選抜	一般選抜
情報工学部	知能情報工学科 （データ科学コース） （人工知能コース） （メディア情報学コース）	７名	○	○
	情報・通信工学科 （ソフトウェアデザインコース） （情報通信ネットワークコース） （コンピュータ工学コース）	９名	○	○
	知的システム工学科 （ロボティクスコース） （システム制御コース） （先進機械コース）	９名	○	○
	物理情報工学科 （電子物理工学コース） （生物物理工学コース）	５名	○	○
	生命化学情報工学科 （分子生命工学コース） （医用生命工学コース）	５名	○	○
合計		３５名		

※　募集人員は推薦選抜と一般選抜の合計です。
※　１人の志願者が本学に出願できるのは１学部のみです。
※　推薦選抜と一般選抜の併願はできません。また，出願資格は選抜方法によって異なります。
※　合格者数が募集人員に満たない場合には，第２次募集を行うことがあります。
　　第２次募集を行う場合は，令和７年８月末までに本学ホームページにて発表します。

○入試に関する重要なお知らせ
https://www.kyutech.ac.jp/examination/

２．出願資格

学部	選抜方法	出願資格
情報工学部	推薦選抜	次の（１）～（２）に該当する者 （１）合格した場合，入学することを確約できる者 （２）高等専門学校本科，短期大学を卒業した者または令和８年３月卒業見込みの者で，出身学校長が，人物・学力ともに優秀で本学における修学に適性があると認め，責任をもって推薦するもの
	一般選抜	次のいずれかに該当する者 （１）他の大学に２年以上在学し，６２単位以上修得した者または令和８年３月までに２年以上在学し，６２単位以上修得見込みの者 （２）学校教育法第１０４条第７項の規定により学士の学位を授与された者または令和８年３月までに授与される見込みの者 （３）大学を卒業した者または令和８年３月卒業見込みの者 （４）高等専門学校本科，短期大学を卒業した者または令和８年３月卒業見込みの者 （５）外国において，前記（１）～（４）のいずれかに相当する課程を修了した者 （６）学校教育法第５８条の２の規定による高等学校の専攻科の課程を修了した者または令和８年３月修了見込みの者 （７）学校教育法第１３２条の規定による専修学校の専門課程を修了した者または令和８年３月修了見込みの者 （８）その他，大学の３年次に編入学できる資格を有する者 ※　上記（１）の「他の大学において６２単位以上を令和８年３月までに修得見込みの者」が，入学試験に合格した後にこれらの単位を修得できないことが確定した場合は，合格を取り消します。

３．試験日及び試験場

試験日	試験場	集合場所
６月２１日（土） または ６月２２日（日） のいずれか１日	**九州工業大学情報工学部** **（飯塚キャンパス）** 福岡県飯塚市川津 680-4	九州工業大学情報工学部 ５００人講義室 （４８・４９ページの地図を参照）

（注）試験日及び集合時間は，受験票により通知します。（受験票については３３ページをご確認ください。）

４．選考方法等

（１）選考方法

原則として第１志望学科（以下「学科」という。）において，調査書，自己申告書，TOEIC（IP可）のスコア及び面接の結果を総合して行います。

ただし，推薦選抜に出願した者〔高等専門学校本科または短期大学の卒業（見込）者で，出身学校長の推薦を受けた者〕のうち，在学中の成績が優秀で，総合力が優れている者は，第１志望学科において，書類のみの選考によって面接を免除し合格とすることがあります。書類のみの選考によって面接を免除した者には，受験票の試験日，集合時間の欄に「面接免除」と記載します。また，受験票がダウンロード可能となる日時に，本学ホームページ上に受験番号を掲載します。

○入試速報
https://www.kyutech.ac.jp/successful/

（２）事前提出物

令和７年５月２９日（木）までに本学から「第３年次編入学生選抜問題確認用URL・パスワード」，「第３年次編入学生選抜問題の解答用紙」及び返送用封筒を送付します。各学科が指定する問題は，令和７年５月３０日（金）に本学ホームページで公表しますので，送付書類に記載された手順に沿って，下記提出期限までに，「第３年次編入学生選抜問題の解答用紙」に解答を記入し，返送用封筒を使って**「速達簡易書留」で発送してください。**その際に郵便窓口で受け取る**「受領証」は試験終了まで大切に保管してください。**

「第３年次編入学生選抜問題の解答用紙」　提出期限　**令和７年６月６日（金）【当日消印有効】**

※　解答にあたっては，書籍等を参考にしてもよいものとします。なお調査や相談をした場合は，解答用紙の末尾に書誌情報やURL，相談相手とあなたとの関係を必ず記載してください。
　また，本学ホームページに掲載している「学部入学者選抜における提出書類の作成について」も必ず確認してください。

○第３年次編入学生選抜ページ
https://www.kyutech.ac.jp/examination/gs-transfer.html

※　解答を記入した「第３年次編入学生選抜問題の解答用紙」は，各学科が指定する科目に対する口頭試問において資料として使用します。

※　発送前にコピーを取るようにしてください。いかなる場合でも，本学からコピーを提供することはできません。

※　上記期限までに解答を記入した「第３年次編入学生選抜問題の解答用紙」を発送しなかった場合，もしくは第１志望の学科が指定する問題を解答しなかった場合は，各学科が指定する科目に対する口頭試問は受験できませんので，注意してください。

（３）自己申告書について

インターネット出願登録時に，以下の２つの内容について入力してください。

【志望理由】

学科の志望理由について，①その学科を第１志望とした経緯，②第１志望学科に編入学した際に勉強したい・研究したい内容，③その内容を将来どのように活かそうと考えているか，について 500 字以内で入力してください。

【これまでに取り組んだこと】

大学編入学後に有用となりそうな高等専門学校もしくは高等学校入学以降これまでに取り組んだことについて，①取り組んだ内容，②それによって身についた能力や知見，③そのことを編入学後にどのように活かそうと考えているか，について 500 字以内で入力してください。

（４）面接について

選抜方法	実施方法	
推薦選抜・一般選抜	面接では，勉学意欲や専門に対する適性，及び，各学科が指定する科目に対する口頭試問を実施します。 各学科が指定する科目に対する口頭試問では，事前に提出していただいた「第３年次編入学生選抜問題の解答用紙」に記載されている内容を参考にしながら質疑応答を実施します。各学科の指定する科目は以下のとおりです。	
	知能情報工学科	「数学」及び「情報基礎」
	情報・通信工学科	「数学」及び「情報基礎」
	知的システム工学科	「数学」及びインターネット出願登録時に選択した「物理または情報基礎」
	物理情報工学科	「数学」及びインターネット出願登録時に選択した「物理または情報基礎」
	生命化学情報工学科	「数学」及びインターネット出願登録時に選択した「化学，生物または情報基礎」

（５）採点・評価基準と合否判定基準

採点・評価基準	合否判定基準
【面接点】 ① 調査書，登録した自己申告書及び第３年次編入学生選抜問題の解答用紙 ・これらの記載内容を面接時の質問項目として反映させます。 ・第３年次編入学生選抜問題の解答用紙については，記載内容そのものは点数化せず，それに基づく口頭試問の内容を面接点として評価します。 ②面接のチェックポイント ・理解力（論理性，リテラシー，学修適応性を含みます。） ・情報工学に対する適性等（学びに対する意欲，学びに対する態度，専門適合性を含みます。） 【調査書点】 ・調査書を点数化します。 【自己申告書点】 ・登録した自己申告書を点数化します。 【TOEIC点】 ・TOEIC(IP可)のスコアを換算して語学力を評価します。 【配点】 ・面接点700点満点，調査書点100点満点，自己申告書点100点満点，TOEIC点100点満点，合計1,000点満点で評価します。 ただし，「推薦選抜」に出願した者で，書類のみによって選考する場合は，調査書点 200 点満点，自己申告書点 100 点満点，合計 300 点満点で評価します。	【面接＋調査書＋自己申告書＋TOEIC】 (書類のみの選考の場合は，調査書＋自己申告書) ・総合点の高い順とします。

（６）第３年次編入学生選抜問題（口頭試問）の出題範囲

第３年次編入学生選抜問題において各学科が指定する科目の出題範囲は，以下のとおりです。

なお，第３年次編入学生選抜問題の解答用紙は，記載内容そのものは点数化せず，それに基づく口頭試問の内容を評価します。

また，第３年次編入学生選抜問題の例として，一部の科目の問題例を本学ホームページに公表しますので，参照してください。

○第３年次編入学生選抜ページ
https://www.kyutech.ac.jp/examination/gs-transfer.html

学科	科目	出題範囲
知能情報工学科	数学	線形代数，解析（微分・積分）
	情報基礎	プログラミング
情報・通信工学科	数学	線形代数，解析（微分・積分）
	情報基礎	論理回路，プログラミング
知的システム工学科	数学	線形代数，解析（微分・積分）
	物理※1	力学（機械・材料・流体），制御
	情報基礎	プログラミング
物理情報工学科	数学	線形代数，解析（微分・積分）
	物理※2	力学，電磁気学，電気回路
	情報基礎	プログラミング
生命化学情報工学科	数学	線形代数，解析（微分・積分）
	化学	基礎化学，有機化学，物理化学
	生物	基礎生物学，細胞生物学，分子生物学
	情報基礎	プログラミング

※１　知的システム工学科の物理は，力学，制御から１つを選択する選択問題です。

※２　物理情報工学科の物理は，力学，電磁気学，電気回路から１つを選択する選択問題です。

５．編入学年次

第３年次とします。

６．履修及び修業年限

修業年限は２年，在学できる期間は４年以内とします。

編入学生は，編入学する学科・コースが定めるカリキュラムに従って卒業要件を満たすよう単位を修得しなければなりません。

７．第３年次編入学生の単位認定等

第３年次編入学生に対しては，編入学生に適用される単位認定の基準に基づいて，修得済科目の単位認定が行われます。したがって，認定される単位数は，高等専門学校や大学において修得済である科目や，各学科・コースで決められたカリキュラムにおいて認定される単位数の違いにより，各編入学生において異なります。第３年次に編入学後は，所定のカリキュラムに従って卒業に必要な単位を修得することになりますが，認定される単位数及び編入学後の学修状況によっては，修業年限の２年で卒業できない場合もあります。詳細については，九州工業大学情報工学部のホームページを参照してください。

なお，情報工学部は， JABEE（日本技術者教育認定機構）の基準により３年次編入学生に対する「既修得単位の認定」を行います。

○情報工学部ホームページ
https://www.iizuka.kyutech.ac.jp/admissions/transfer_info/procedure-3rd

８．学科及びコースの選択方法

（１）学科の選択について

出願時に，志望する学科を第３志望まで選択することができます（コースの選択はできません）。
なお，第２志望または第３志望を「選択しない」とすることができます。
ただし，第２志望を「選択しない」とした場合は，第３志望も「選択しない」となります。

（２）コースの選択について

合格者には，令和８年１月下旬に送付する第二次入学手続書類に「志望コース調査」に関する文書を同封しますので，入学手続と合わせて対応してください。知能情報工学科，情報・通信工学科，物理情報工学科，及び生命化学情報工学科は志望するコースに受け入れます。

なお，知的システム工学科では，原則第１志望のコースに受け入れますが，選抜方法及び出願資格により以下の順及び方法でコースを決定する場合があります。

知的システム工学科のコース決定方法
１．推薦選抜及び一般選抜（出願資格（４）を除く）の合格者を，本人の志望及び入学者選抜の成績に基づき決定します。
２．一般選抜（ただし，出願資格（４）に限る）の合格者を，本人の志望及び入学者選抜の成績に基づき決定します。

９．出願手続及び出願期間等

（１）出願方法

インターネットを利用して，①出願情報の登録，②自己申告書の登録及び印刷，③顔写真データの登録，④入学検定料 30,000 円（別途，サービス利用料 990 円）の支払い，⑤出願登録内容の印刷（以下「インターネット出願登録」という。）を行ってください。

なお，インターネット出願登録の手順は，８ページのとおりです。

＜インターネット出願登録サイト＞
https://www.kyutech.ac.jp/examination/internet-application.html

※　本学が指定する自然災害により被災された志願者のうち，入学検定料の免除を希望する者は，必ず本学ホームページを参照のうえ，インターネット出願登録の前に免除の申請を行ってください。

○自然災害による被災学生に対する九州工業大学の取り組み
https://www.kyutech.ac.jp/information/disaster/taiou.html

※　「②自己申告書」は，インターネット上から「J-Bridge System（以下「JBS」という。）」を利用して登録してください。

なお，インターネット出願登録を開始する前に登録内容を準備しておくことで，出願手続を効率的に進めることができます。（例：登録内容をテキストデータで端末に保存しておき，インターネット出願登録時に，コピー&ペースト（貼り付け）で入力する。）

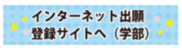
また，JBS を利用した登録の手順を１５ページ及び本学ホームページにそれぞれ掲載していますので，必要に応じて参照してください。

○第３年次編入学生選抜ページ
https://www.kyutech.ac.jp/examination/gs-transfer.html

※　インターネット出願登録後，２９ページ（３）の提出書類を郵送または持参することで，出願完了となります。３０ページ（５）の出願期間内に提出書類の郵送または持参がない場合，出願未完了となり，登録データは無効として取り扱いますので，注意してください。

※　入学検定料の支払い方法，インターネット出願登録に関するよくある質問など詳細については，上記＜インターネット出願登録サイト＞をご覧ください。

（2）インターネット出願登録

インターネット出願登録を始める場合は，インターネット出願登録サイトにアクセスし， 

をクリックしてください。

次にガイダンス画面（トップページ）上部にある

ボタンをクリックして画面の指示に従い，入力してください。

○インターネット出願登録サイト
https://www.kyutech.ac.jp/examination/internet-application.html

Step1 試験区分の選択

ボタンをクリックして次へ進むと，Step1 の画面が表示されます。

受験する「第３年次編入学生選抜」を選択して 次へ をクリックしてください。

Step2 志望学部等の選択

Step1 で選択した「試験区分」が表示されます。
必要事項を入力してください。

入力し終えたら，次へ をクリックしてください。
前の画面に戻る場合は，戻る をクリックしてください。

Step3 個人情報の入力

個人情報等を入力します。入力し終えたら，次へ をクリックしてください。
前の画面に戻る場合は，戻る をクリックしてください。

必須項目に入力漏れがある場合はエラーとなりますので，再入力してください。
★必須項目は試験区分によって異なりますので，画面の指示に従って，入力してください。

緊急時の連絡先（保護者等の情報）

住所・連絡先を転記　□ 保護者等の情報へ転記　（上記で入力した住所・連絡先と同じ場合はチェックを入れてください。）

氏名	必須	姓 九工大 名 一郎
志願者との続柄	必須	父 （全角）
郵便番号	必須	804 - 8550 （半角） 郵便番号から住所を表示する
都道府県	必須	選択してください 住所から郵便番号を表示する
市郡区	必須	北九州市戸畑区 （全角）
町番地	必須	仙水町１－１ （全角）
マンション・アパート名・号室		（全角）
電話番号 ※自宅電話番号、携帯電話番号どちらか必ず入力してください。（両方ある場合は両方入力してください。） ※確実に連絡のとれる番号を入力してください。	必須	自宅 093 - 884 - 3056 （半角） 携帯 080 - 1234 - 5678 （半角）

出身学校（出願要件に該当する在籍中の学校または最終学歴について入力してください。）

国立・公立・私立	必須	選択してください
学校名	必須	学校名
学校種別	必須	選択してください
学部・学科	必須	学部・学科
卒業年	必須	選択してください 年 03 月 選択してください （半角）

中学校卒業後の学歴　※入力欄が足りない場合は、適当な別紙に記入して出願書類と共に送付してください。

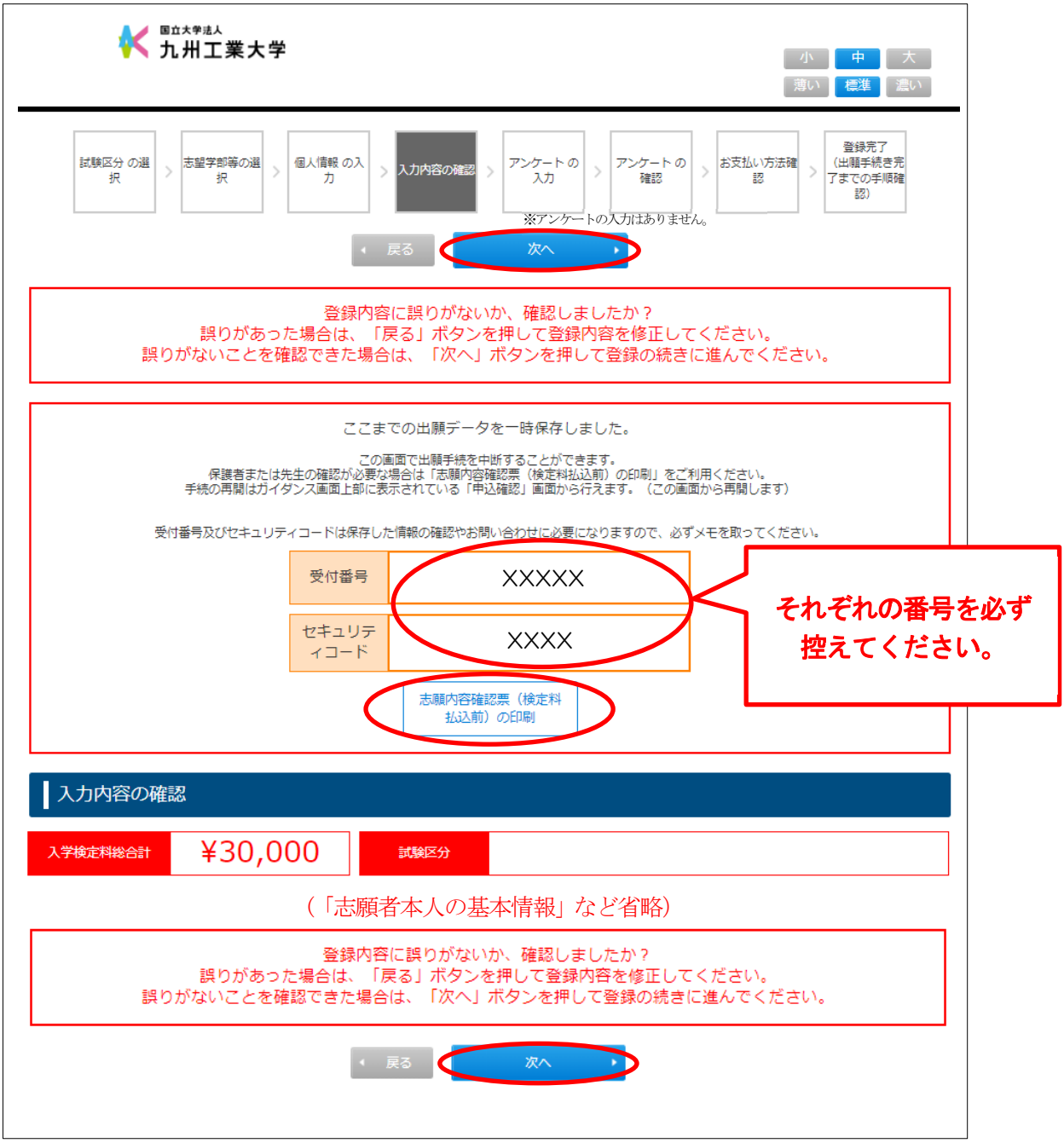
中学校卒業後の学歴（１つ目）

所在地・都市名	必須	○○県○○市
学校名	必須	○○高等学校
在学期間	必須	3 年（半角）
入学等年月	必須	年 月
入学等区分	必須	選択してください
卒業等年月	必須	年 月
卒業等区分	必須	選択してください

Step4 入力内容の確認

step1～3 で入力したすべての内容の確認です。
ここまでに入力した内容を確認するための「志願内容確認票（検定料払込前）」を印刷できますので，必要に応じて保護者の方や学校の先生に確認してもらってください。内容を訂正する場合は 戻る をクリックして，訂正してください。登録内容に間違いがなければ， 次へ をクリックしてください。
※ここで印刷したものは送付できません。顔写真データの登録，及び，検定料の支払い後に提出用を印刷してください。

【登録の中断と再開について】
ここまでに入力した内容は自動的に一時保存されています。保護者の方，学校の先生に確認を依頼する間，ブラウザを閉じてもここから入力を再開できます。再開には画面に表示されている受付番号及びセキュリティコードが必要になりますので，ブラウザを閉じる前に必ずメモを取ってください。



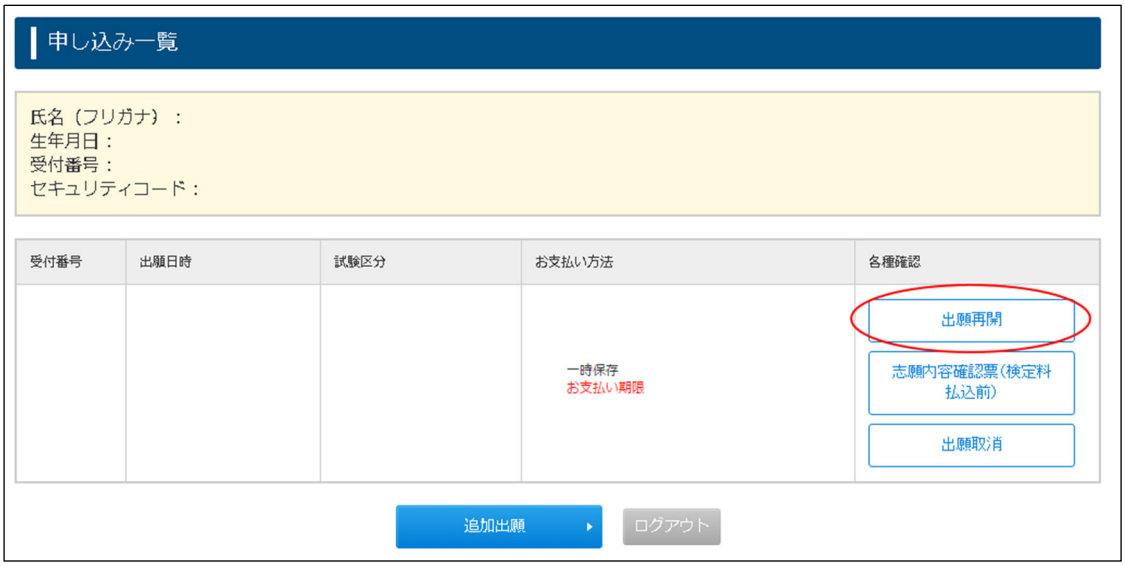
【登録の再開について】

再開する場合は，ガイダンス画面上部の

ボタンをクリックしてください。申し込み確認画面で生年月日，受付番号及びセキュリティコードを入力してログインすると，申し込み一覧画面が表示されます。

各種確認欄に表示されている「出願再開」ボタンをクリックすると，Step4（入力内容の確認画面）から入力を再開できます。

※　受付番号及びセキュリティコードは入力したメールアドレス宛にも送信されます。



Step5 入学検定料のお支払い方法確認

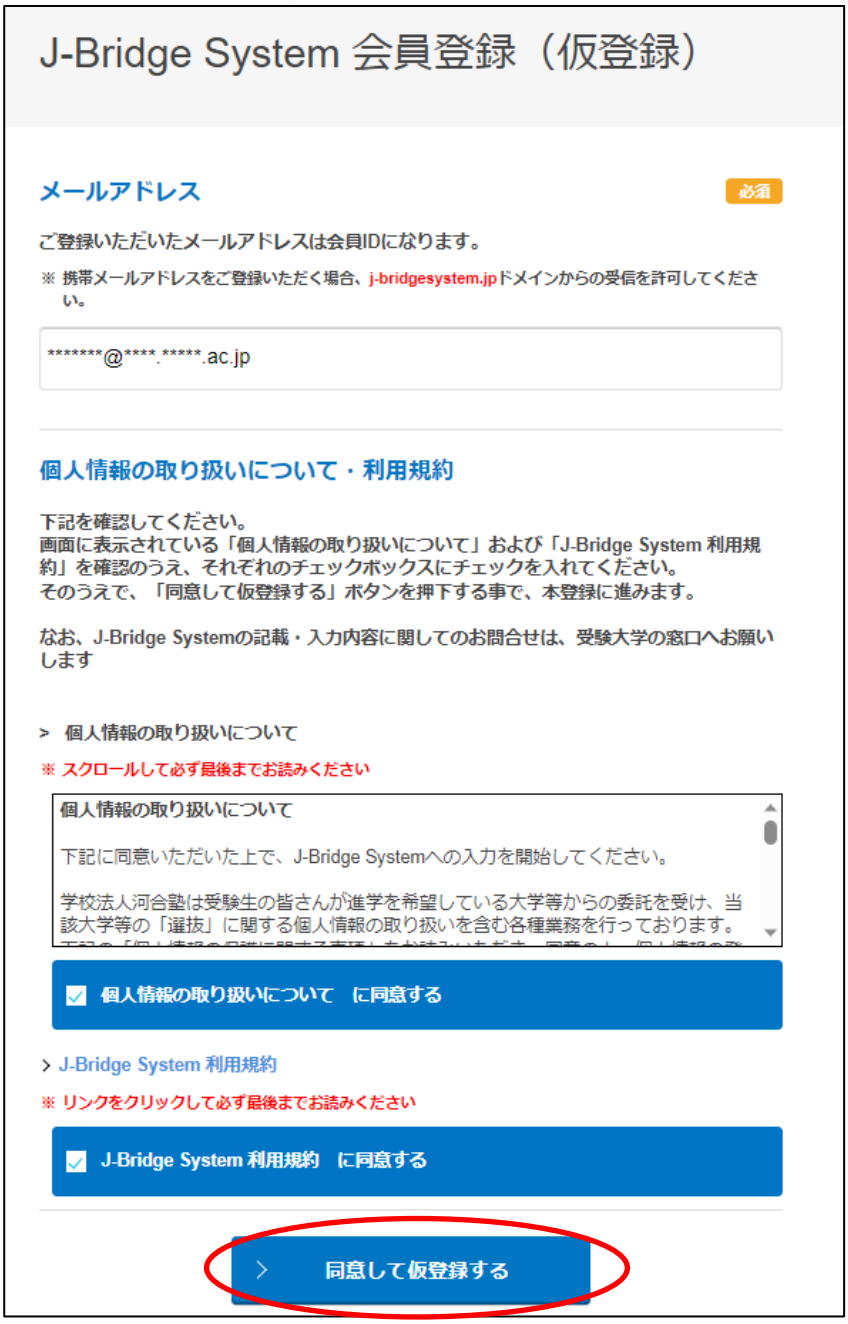
事前に入学検定料のお支払い方法を確認のうえ，登録 をクリックしてください。お支払い手続の内容は，次の画面で表示されます。
前の画面に戻る場合は，戻る をクリックしてください。
なお，登録 をクリックすると，今回登録されたデータの変更ができなくなりますので，注意してください。

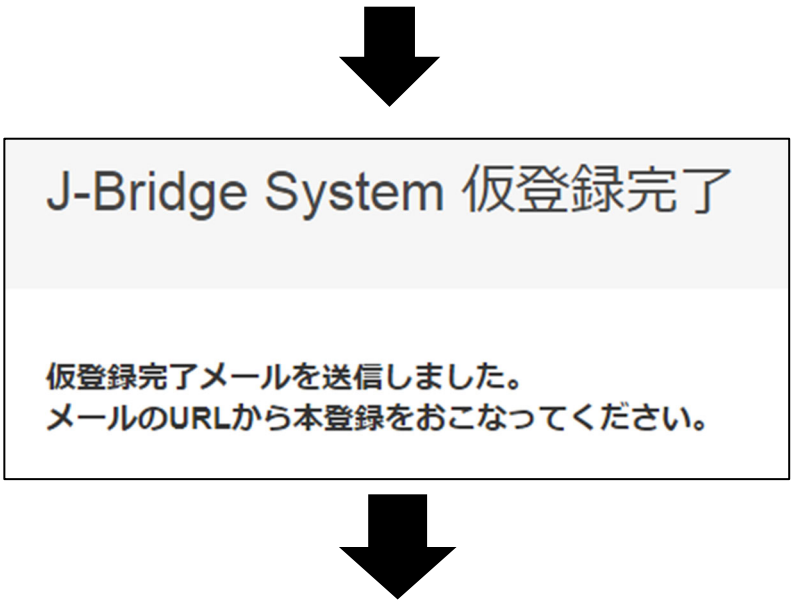
Step6 自己申告書の登録及び印刷

「J-Bridge System へ評価項目を入力する」ボタンを押してください。

「新規会員登録」ボタンをクリックしてください。
なお，「J-Bridge System」に会員登録済みの場合は，「ログイン画面へ」ボタンを押してください。

画面の指示に従い，会員登録を行ってください。





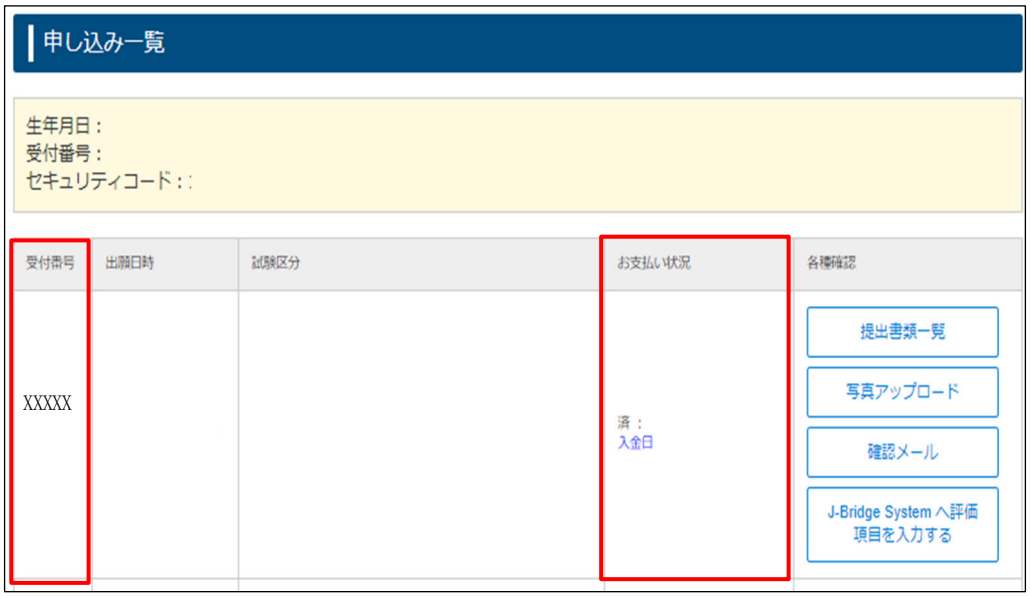
送られてくるメールに記載されたURLにアクセスして，パスワードを設定してください。
※　ID（メールアドレス）とパスワードは，再度「J-Bridge System」にログインする場合に必要となりますので，必ずメモを取っておいてください。

インターネット出願登録時に発行された「受付番号」を入力し，「出願を登録する」ボタンを押してください。
※「受付番号」が不明な場合は，インターネット出願登録時に配信されたメールを確認してください。

自己申告書を登録するトップページの画面の，「九州工業大学/第３年次編入学/志望学部・学科（学科は志望順に表示）/（インターネット出願登録時の受付番号)」を押してください。

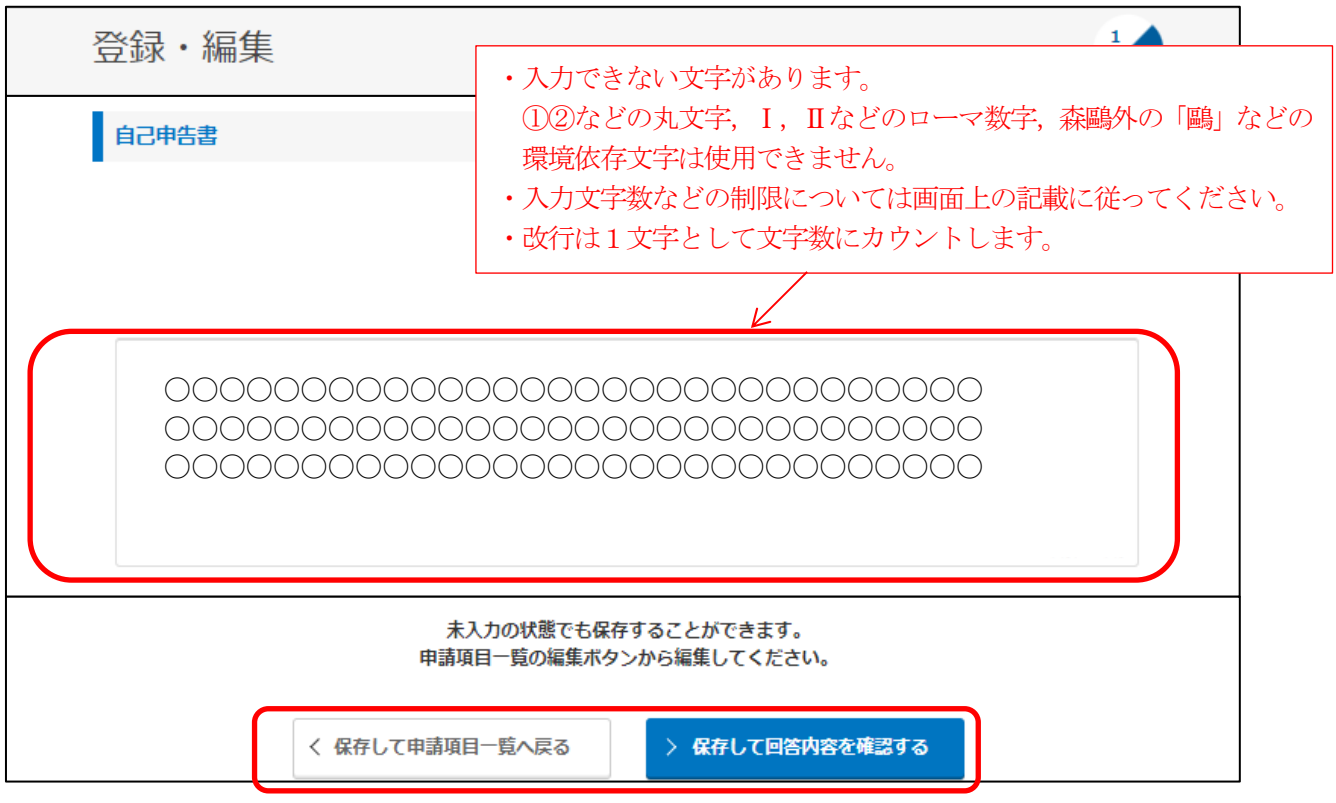
※　本学で複数回登録したり他大学で登録したことがある場合はそれらの内容も表示されますので，必ず「志望大学・学部・学科，インターネット出願登録時の受付番号（入学検定料を支払って提出するもの)」を確認のうえ，選択してください。
　なお，選択ミスがないよう，入学検定料を支払った後に，「入学検定料の支払い状況」を確認のうえ，登録することも可能です。(「入学検定料の支払い状況」は，この画面のほか，インターネット出願登録の「申し込み一覧画面」にて，「受付番号」と「お支払い状況」を確認することが可能です。)

＜インターネット出願登録の申し込み一覧画面（「受付番号」と「お支払い状況」の確認）



「申請を開始する」ボタンを押して，活動内容を登録（入力）してください。

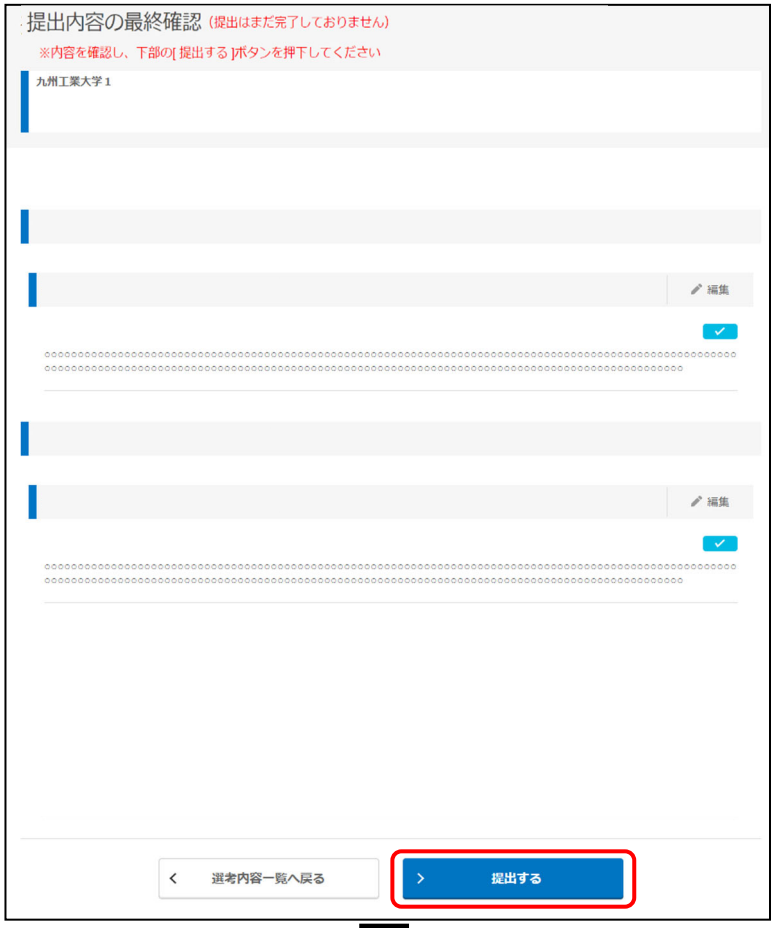
設問内容をよく読んだうえで，自己申告書を登録（入力）し，「保存して申請項目一覧へ戻る」または「保存して回答内容を確認する」ボタンを押してください。



登録（入力）完了後，申請項目一覧画面の「参照」ボタンを押すと，登録（入力）した内容が表示されますので，登録（入力）した内容に問題がないことを必ず確認のうえ，「提出手続きへ」ボタンを押してください。

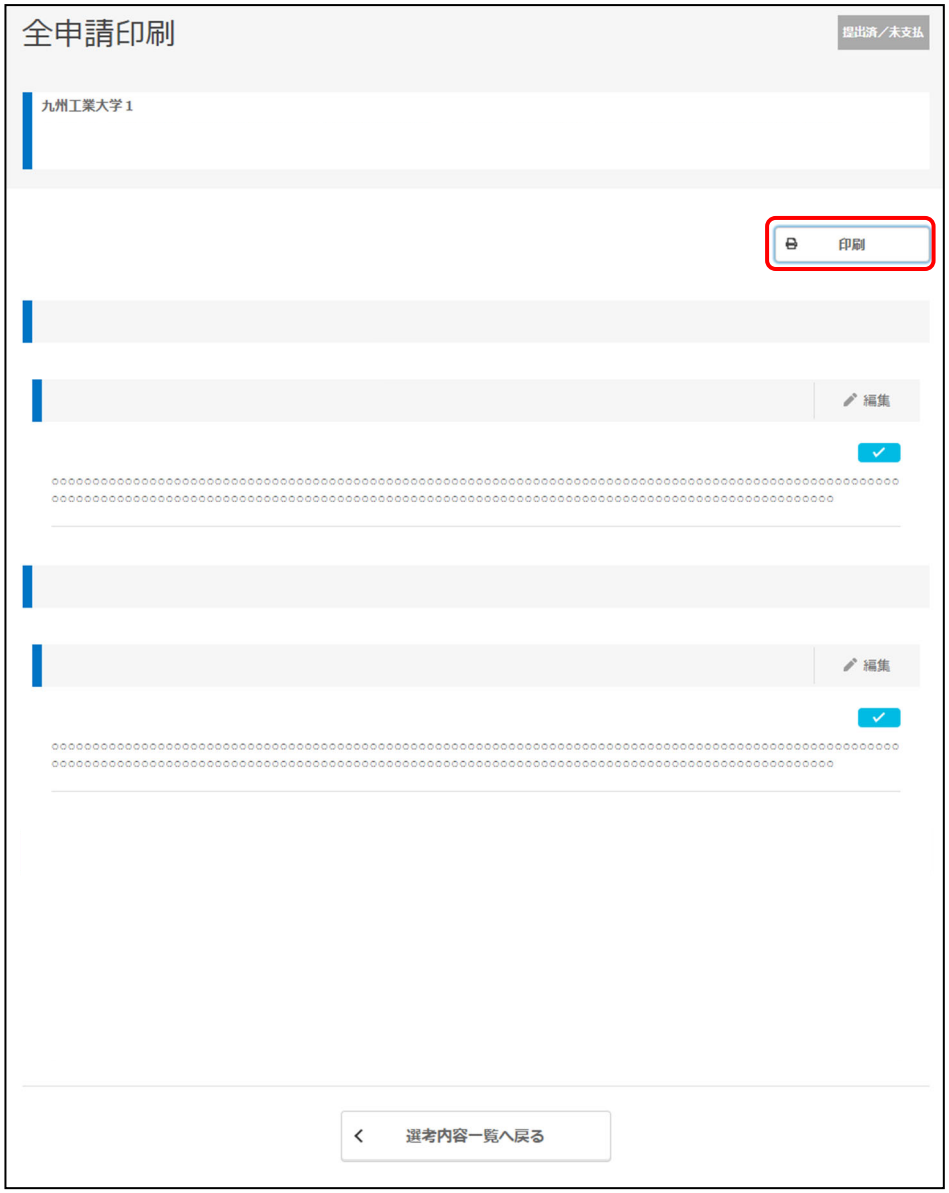
なお，登録（入力）した内容を変更する場合は，「編集・削除」ボタンを押してください。

登録（入力）した内容に問題がないことを確認したら，「提出する」ボタンを押してください。
なお，「提出する」ボタンを押すと，登録（入力）した内容の変更ができなくなりますので，注意してください。



「印刷画面へ」ボタンを押してください。

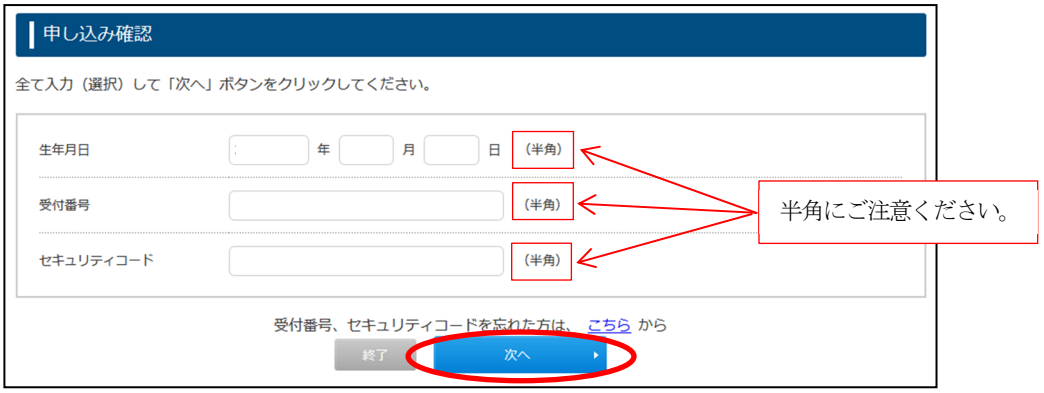
「印刷」ボタンを押して印刷し，出願書類とともに提出してください。



Step7 顔写真データの登録

ガイダンス画面上部の ボタンをクリックし，申し込み確認画面で生年月日，受付番号及びセキュリティコードを入力して，次へ をクリックしてください。

※　受付番号及びセキュリティコードは入力したメールアドレス宛にも送信されます。



申し込み一覧画面が表示されますので，「写真アップロード」ボタンをクリックし，画面の指示に従って，顔写真データをアップロードしてください。

次の要件を満たす顔写真データをご準備ください。

- 出願前 3 か月以内に撮影したもの。
- 志願者本人のみが撮影されたもので，鮮明であるもの
- カラー写真（白黒不可），上半身・正面，無帽，背景（影を含む）なし，枠なし
- 写真サイズは 100KB 以上，5MB 以下であることが必要です。
- 写真データ形式は「JPEG/PNG」のいずれかであることが必要です。
（ファイル拡張子は jpg/png）。

Step8 入学検定料のお支払い

①顔写真の登録完了画面の「申し込み一覧に戻る」ボタンをクリック，または②ガイダンス画面上部の 申込確認 ボタンをクリックして，申し込み確認画面にログインし，各種確認欄の「検定料のお支払いサイトへ」ボタンをクリックして，次ページの「検定料支払い方法のご案内」及び画面の指示に従って，入学検定料をお支払いください。

①顔写真の登録完了画面の「申し込み一覧に戻る」ボタンの場合

②ガイダンス画面上部の「申込確認」ボタンの場合

検定料支払い方法の流れ（クレジットカード以外の場合）

■ コンビニエンスストア
https://www.paygent.co.jp/payment_service/way_to_pay/cvs/

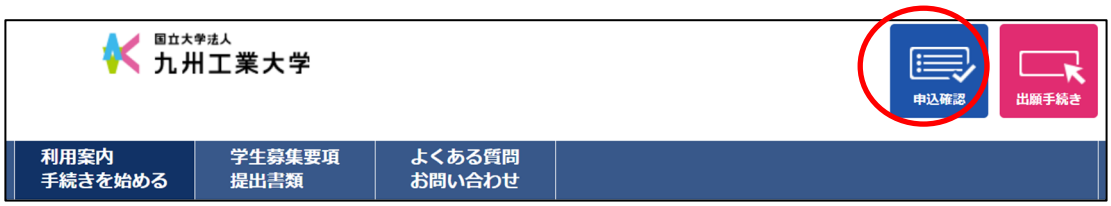
■ 銀行ＡＴＭ（ペイジー）
https://www.paygent.co.jp/payment_service/way_to_pay/atm_pay-easy/

■ ネットバンキング
https://www.paygent.co.jp/payment_service/way_to_pay/Internet_banking/

Step9 提出書類の印刷

ガイダンス画面上部の

ボタンをクリックして，申し込み確認画面にログインし，出願時に必要となる提出書類の一部（「志願内容確認票（提出用）」等）を印刷してください。

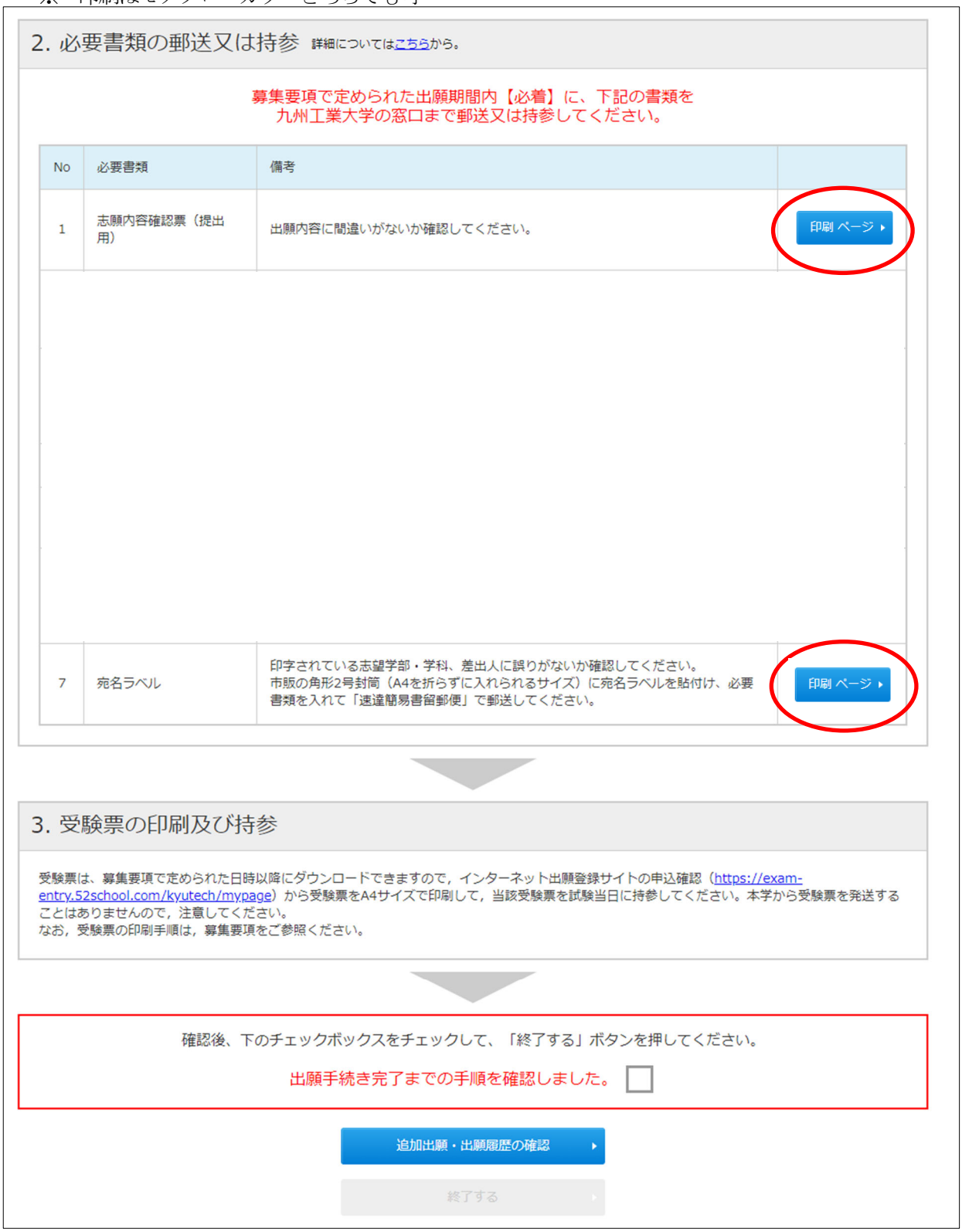


生年月日，受付番号及びセキュリティコードを入力してログインすると，申し込み一覧画面が表示されます。

※　受付番号及びセキュリティコードは入力したメールアドレス宛にも送信されます。

各種確認欄の「提出書類一覧」ボタンをクリックすると，必要書類の画面が表示されます。

「志願内容確認票（提出用）」，「宛名ラベル」の 印刷ページ ボタンをクリックし，印刷してください。
（入試区分によっては，印刷する書類が他にもありますので，同様に印刷してください。）
※　印刷はモノクロ・カラーどちらでも可



2. 必要書類の郵送又は持参　詳細についてはこちらから。

募集要項で定められた出願期間内【必着】に、下記の書類を
九州工業大学の窓口まで郵送又は持参してください。

No	必要書類	備考	
1	志願内容確認票（提出用）	出願内容に間違いがないか確認してください。	印刷 ページ
7	宛名ラベル	印字されている志望学部・学科、差出人に誤りがないか確認してください。 市販の角形2号封筒（A4を折らずに入れられるサイズ）に宛名ラベルを貼付け、必要書類を入れて「速達簡易書留郵便」で郵送してください。	印刷 ページ

3. 受験票の印刷及び持参

受験票は、募集要項で定められた日時以降にダウンロードできますので，インターネット出願登録サイトの申込確認（https://exam-entry.52school.com/kyutech/mypage）から受験票をA4サイズで印刷して，当該受験票を試験当日に持参してください。本学から受験票を発送することはありませんので，注意してください。
なお，受験票の印刷手順は，募集要項をご参照ください。

確認後、下のチェックボックスをチェックして、「終了する」ボタンを押してください。

出願手続き完了までの手順を確認しました。 ☐

追加出願・出願履歴の確認

終了する

（3）提出書類

インターネット出願登録完了後，次に掲げる書類等を整え提出してください。

選抜方法により出願書類が異なるので，十分注意してください。

〔 ○：必ず提出するもの　△：該当者のみ提出するもの　×：提出不要 〕

区分	名称	推薦選抜	一般選抜	備考
インターネット出願登録内容の印刷物	①志願内容確認票（提出用）	○	○	インターネット出願登録後，印刷したもの。（印刷の手順は２７ページ参照）
	②宛名ラベル	○	○	提出書類を郵送する場合は，インターネット出願登録後，印刷したものを，市販の角形２号封筒（240㎜×332㎜）に貼り付けてください。 （持参の場合は提出不要です。）
	③自己申告書	○	○	指定された内容を「JBS」に登録し，印刷したものをそのまま提出してください。詳細は１５ページをご参照ください。なお，自己申告書の作成にあたっては，本学ホームページに掲載している「学部入学者選抜における提出書類の作成について」を必ず確認のうえ，作成してください。 ○第３年次編入学生選抜ページ https://www.kyutech.ac.jp/examination/gs-transfer.html
その他必要書類	④推薦書	○	×	本学所定の様式に出身学校長が作成し厳封したもの。 なお，推薦書の様式は本学ホームページからダウンロードしてください。 ○第３年次編入学生選抜ページ https://www.kyutech.ac.jp/examination/gs-transfer.html
	⑤調査書	○	○	本学所定の様式に出身学校長が作成し厳封したもの。 なお，調査書の様式は本学ホームページからダウンロードしてください。 ただし，出身学校長が作成する調査書が得られない場合は，成績証明書のみをもってこれに代えることができます。 ○第３年次編入学生選抜ページ https://www.kyutech.ac.jp/examination/gs-transfer.html
	⑥成績証明書	○	○	出身学校長が作成し厳封したもの
	⑦TOEIC（IP 可）のスコアシート	○	○	「TOEIC スコア公式認定証【Official Score Certificate】」または「TOEIC-IP スコアレポート」の原本，もしくは「TOEIC スコアデジタル公式認定証【Official Score Certificate】」の印刷物。（以下「スコアシート」という。） （2023 年度第１回検定以降） ※　提出されたスコアシートは，返却しません。 ※　スコア証明書の再発行手続きが間に合わないため原本を提出できない場合で，公式な証明書の写しがあり，出身学校等の校長が原本の写しであることを証明（以下「原本証明※」）できるときは，原本証明したものを，原本の代わりに提出してください。 ※　原本証明は，原本と相違ない旨を記入し，校長印で証明されたものです。なお，公式な証明書の表面に原本証明を行う余白がない場合は，裏面に記入・押印しても構いません。 ※デジタル公式認定証については，必要に応じて，提出された印刷物の QR コードを読み取り，発行元の確認などを行いますので，原本証明は不要です。 ※　出願時にスコアシートを提出できない場合は，出願を受理しません。
	⑧最終出身学校の卒業（修了）証明書または卒業（修了）見込証明書	○	○	出身学校長が作成したもの ※　一般選抜の出願資格（１）により出願する者は，在学または在籍証明書（任意様式）を提出してください。 ※　一般選抜の出願資格（６）により出願する者は，高等学校が発行する「修業年限が２年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準（平成 28 年文部科学省告示第 63 号）を満たしていることの証明書（任意様式）」も，あわせて提出してください。 ※　一般選抜の出願資格（７）により出願する者は，専修学校が発行する「修業年限が２年以上で，かつ，修了に必要な総授業時間が 1,700 時間以上の専門課程を修了または修了見込みであることを証明する証明書（任意様式）」も，あわせて提出してください。
	⑨在留資格認定証明書等（外国人の志願者のみ）	△	△	在留資格認定証明書（査証手続の済んだもの）の写し，在留カードの写し，または住民票の写し

※　上記以外の書類は，提出しないでください。（ただし，本学が個別に指定した場合を除く。）

（4）提出方法

市販の角形２号封筒（240㎜×332㎜）に，インターネット出願登録完了後に印刷した宛名ラベルを貼り付け，提出書類を入れて，「速達簡易書留」で郵送してください。その際に郵便窓口で受け取る「受領証」は試験終了まで大切に保管してください。

なお，提出書類が出願期間内に本学へ到着しない可能性がある場合は，３０ページ「（6）提出先」まで持参による提出も可能です。（５月１９日（月）１７時まで）この場合，宛名ラベルの印刷・貼り付けは不要です。また，受付時間は９時から１７時まで（土・日・祝日を除く）です。

（５）出願期間

出願期間（提出書類受付期間）は，次のとおりです。

令和７年５月１３日（火）～５月１９日（月）１７時必着

※　ただし，インターネット出願登録は，令和７年５月７日（水）９時から開始することが可能です。
なお，インターネット出願登録だけでは，出願手続は完了しません。（出願期間内に提出書類を郵送または持参することで完了します。）

（６）提出先

〒820-8502　福岡県飯塚市川津 680-4
九州工業大学大学院情報工学研究院教務学生支援課教務係（飯塚キャンパス）
電話　0948-29-7519

１０．出願上の注意事項

（１）提出書類に不備がある場合は，出願を受理できないことがあります。

（２）受理した提出書類は，いかなる理由があっても返却できません。

（３）既納の入学検定料は，次のいずれかに該当する場合を除き，いかなる理由があっても返還できません。下記のアからオのいずれかに該当する場合は，３７ページ「１９．入学試験に関する問い合わせ先」へ連絡後，本学が指定する返還金請求書等をご提出いただくことで入学検定料を返還します。

ア　提出書類を郵送または持参しなかった場合
※　インターネット出願登録だけでは，出願手続は完了しません。出願期間内に提出書類を郵送または持参することで完了します。

イ　提出書類の不備により出願が受理されなかった場合

ウ　本学が指定する自然災害の被災者で，入学検定料免除の手続きを行った場合

○自然災害による被災学生に対する九州工業大学の取り組み
https://www.kyutech.ac.jp/information/disaster/taiou.html

エ　誤って二重に支払った場合

オ　高等専門学校等の国費外国人留学生で，国費外国人留学生の奨学金支給期間の延長を申請し採用され，入学後も引き続き国費外国人留学生となる場合（出願時に国費外国人留学生であることの証明書（様式任意）の提出が必要となります。）
※　上記オの場合は，入学時に検定料を返還します。

（４）提出書類に虚偽の記載が認められた者は，合格発表後でも合格を取り消すことがあります。

（５）入学検定料を支払い，提出書類を郵送または持参した後は，提出書類の変更はできません。提出書類のうち，「志願内容確認票」については，入学検定料のお支払い方法確認画面の「登録」ボタンを押す前であれば，インターネット出願登録サイトにて，志願者自身で変更できます。また，「登録」ボタンを押した後でも，入学検定料を支払う前であれば，再度出願登録を行うことで，変更できます。なお，入学検定料を支払った後で，提出書類を郵送または持参する前に変更を希望する場合は，インターネット出願登録後に印刷した「志願内容確認票（提出用）」のチェック欄を確認してください。

（６）出願後，住所等を変更した場合は，速やかに３７ページの「１９．入学試験に関する問い合わせ先」まで連絡してください。

（７）障がい等を有する志願者は，３１ページの「１１．障がい等を有する入学志願者の配慮に関する事前相談」を参照のうえ，必要に応じて出願の前に必ず申し出てください。

１１．障がい等を有する入学志願者の配慮に関する事前相談

障がい（下表参照）等があり，受験及び修学上の配慮を必要とする場合は，出願前に，下記（３）の連絡先まで配慮に関する事前相談をしてください。

特に，体幹及び両上下肢の機能障がいが著しく，代筆解答を希望する者は，できるだけ早い時期にご相談ください。

区分	障がいの程度
視覚障がい者 （強度の弱視者を含む。）	両眼の視力がおおむね 0.3 未満のものまたは視力以外の視機能障がいが高度のもののうち，拡大鏡等の使用によっても通常の文字，図形等の視覚による認識が不可能または著しく困難な程度のもの
聴覚障がい者 （強度の難聴者を含む。）	両耳の聴力レベルがおおむね 60 デシベル以上のもののうち，補聴器等の使用によっても通常の話声を解することが不可能または著しく困難な程度のもの
肢体不自由者	１．肢体不自由の状態が補装具の使用によっても歩行，筆記等日常生活における基本的な動作が不可能または困難な程度のもの ２．肢体不自由の状態が前号に掲げる程度に達しないもののうち，常時の医学的観察指導を必要とする程度のもの
病弱者 （身体虚弱者を含む。）	１．慢性の呼吸器疾患，腎臓疾患及び神経疾患，悪性新生物その他の疾患の状態が継続して医療または生活規制を必要とする程度のもの ２．身体虚弱の状態が継続して生活規制を必要とする程度のもの

※　学校教育法施行令第 22 条の３の規定に準拠

（注）上記に該当しない場合でも，日常生活において使用している補聴器，松葉杖，車椅子等を使用して受験を希望する場合も，試験場設定などの対応の関係から必ず申し出てください。

※　事前相談は障がいのある者等に本学で可能な対応についてあらかじめ双方で確認することで，受験及び修学にあたりより良い方法等を実現するために行うもので，障がいのある者等の受験や修学を制限するものではありません。

（１）配慮に関する事前相談の期限

令和７年４月１８日（金）まで

※　上記の期限後に受験及び修学上の配慮が必要となった場合にも，下記（３）の連絡先に必ず問い合わせてください。

※　相談の内容や時期によっては，本学の試験日までに対応できず，受験上の配慮が講じられないこともありますので，できるだけ早い時期に申し出てください。

（２）配慮に関する事前相談の方法

下記（３）に連絡して事前相談申請書を請求し，必要事項を記入の上，診断書等を添付して送付してください。必要な場合は，本学において，志願者自身またはその立場を代弁し得る出身学校関係者等との面談を行うことがあります。

（３）配慮に関する事前相談の連絡先及び送付先

〒804-8550　福岡県北九州市戸畑区仙水町１番１号（戸畑キャンパス）
九州工業大学入試・教育接続課入試係
電話　093-884-3056

（4）第３年次編入学生選抜における受験上の配慮の受入れ・対応実績及び主な配慮事項（一般的な例）

区分	配慮事項
受入れ・対応実績	・面接の際，面接員の口元が見えるようにする ・受験中の補聴器の装着を許可する ・頭部に無地の黒布を着用した状態での受験を許可する ・出願登録に関する証明書にて，布を着用した状態での写真の使用を許可する
その他一般的な例	・明るい座席を指定 ・座席を前列に指定 ・座席を試験室の出入口に近いところに指定 ・洋式トイレに近い座席を指定 ・拡大鏡, 単眼鏡, 遮光眼鏡の持参使用 ・試験場への乗用車での入構及び試験室入口までの付添者の同伴 ・補聴器又は人工内耳の装用（FM 電波等の受信機能のスイッチを切って使用する） ・松葉杖の持参使用 ・車椅子の持参使用 ・試験室における介助（扉の開閉・転倒防止・筆記用具を落とした時に拾う）を監督者等が対応 ・監督者等が出来るだけ背後に立たないように対応

※　下記 Web サイトより，障がいを持つ入学希望者向けの入学前相談を申し込むことができます。ただし，この事前相談を利用した場合も必ず上記（1）～（3）の手続きを行ってください。

○障がい学生入学前相談
https://sog-sien.jimu.kyutech.ac.jp/nyugakumae/index.html

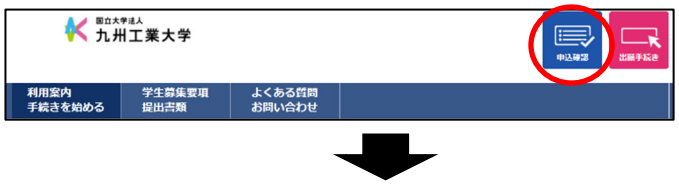
１２．受験票

令和７年６月１３日（金）１５時以降に受験票をダウンロードできますので，インターネット出願登録サイトの「申込確認」画面から受験票を A4 サイズで印刷して，試験当日に持参してください。本学から受験票を発送することはありませんので，注意してください。

なお，受験票の印刷手順は以下のとおりです。

（1）ガイダンス画面上部の

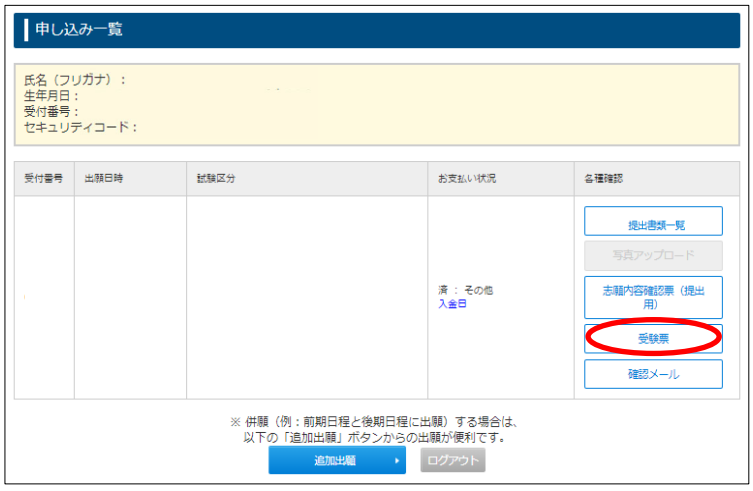
ボタンをクリックすると，申し込み確認画面が表示されます。



（2）生年月日，受付番号及びセキュリティコードを入力してログインすると，申し込み一覧画面が表示されます。

※　受付番号及びセキュリティコードは入力したメールアドレス宛にも送信されます。

（3）各種確認欄の「受験票」ボタンをクリックすると，受験票が表示されますので，A4 サイズで印刷してください。



※　入学試験成績等の開示請求（詳細は，３６ページの「１７．入学試験成績等の開示」を参照してください。）を行う場合は，受験票が必要となりますので，ダウンロードした受験票は合格発表後も大切に保管しておいてください。

１３．受験上の注意事項

（1）受験の際には，本学の受験票を必ず持参してください。

（2）必ず指定された試験日の集合時間に，指定された試験場の集合場所まで集合してください。３０分以上の遅刻者は面接を受けられなくなる場合があります。

（3）カンニング，監督者の指示に従わないこと，迷惑行為などは不正行為になります。不正行為と認められた場合は，直ちに受験を停止させ，退出を命じます。この場合，当該受験は無効とします。

（4）試験当日において，学校保健安全法で出席の停止が定められている感染症（インフルエンザ，麻しん，水痘，新型コロナウイルス感染症等）に罹患して治癒していない場合は，他の受験者や監督者等への感染のおそれがあるため受験できません。

また，受験できない場合の追試験や別室受験等の特別措置及び入学検定料の返還は行いませんので，万全の態勢で試験当日を迎えられるよう，体調管理には十分注意してください。

なお，上記の内容に変更が生じた場合は，速やかに本学ホームページにてお知らせします。

○入試に関する重要なお知らせ
https://www.kyutech.ac.jp/examination/

１４．合格発表

日時：令和７年７月３日（木）　午前１０時

本学のホームページに合格者の受験番号を掲載し，合格者に「合格通知書」等を郵送します。また，「推薦選抜」の受験者の合否については，推薦した出身学校長に文書でも通知します。

なお，電話等による合否等の問合せには応じられません。

○入試速報
https://www.kyutech.ac.jp/successful/

（注）合格通知書等の氏名について，コンピュータで表記できない文字は，文字が置き換えられるか，カタカナ等で表記されますので，ご了承ください。

（例）　吉→吉　　廣→廣　　角→角

１５．入学手続

合格者には，第一次入学手続に必要な書類を令和７年８月下旬に郵送しますので，令和７年９月１２日（金）１７時【必着】までに下記（1）提出先に「速達簡易書留もしくはレターパック」にて郵送してください。期間内に手続を行わない者は，編入学生選抜合格者としての権利を消失します。

※　入学手続は２段階に分けて行います。第二次手続期間等は，令和８年１月下旬に郵送する入学手続書類でお知らせする予定です。

（1）提出先

〒820-8502　福岡県飯塚市川津 680-4
九州工業大学大学院情報工学研究院教務学生支援課教務係（飯塚キャンパス）
電話　0948-29-7519

（2）留意事項

推薦選抜の合格者で，やむを得ず入学を辞退しようとする場合は，入試・教育接続課入試係（電話：093-884-3056）まで事前に連絡し，A4 サイズの用紙に，受験番号，氏名，合格学部・学科及び具体的な辞退理由（一身上の都合等は不可）を明記した「推薦入学辞退願」を出身学校長経由で本学学長宛（九州工業大学入試・教育接続課入試係気付）に令和７年９月１２日（金）１７時までに提出してください。本学にて内容を検討のうえ，許可された場合は，入学辞退を認めます。

１６．入学手続時の納付金

・入学料　282,000 円（予定額）
・諸納金（後援会会費，責善会会費，明専会会費，学生教育研究災害傷害保険費）52,750 円（予定額）

（１）既納の入学料は，次のいずれかに該当する場合を除き，いかなる理由があっても返還できません。
　ア　入学手続をしなかった場合
　イ　誤って二重に支払った場合
（２）入学手続を完了した者が，令和８年３月３１日（火）までに入学を辞退した場合には，申し出により既納の諸納金相当額を返還します。ただし，既納の入学料はいかなる理由があっても返還できません。
（３）授業料〔前期分・後期分とも各 267,900 円（予定額）〕の支払は，入学手続時に申請していただく銀行口座から「振替による自動引落」にて行います。（前期は令和８年４月，後期は令和８年１０月の予定）
（４）授業料等の改定が行われた場合には，改定時から新授業料等が適用されます。
（５）本学は，「高等教育の修学支援新制度」の対象機関として認定を受けています。
　本制度による支援を希望する場合は，審査結果が出るまでの期間，入学料及び授業料の納付は猶予されます。詳細については，入学手続書類でお知らせします。

◆高等教育の修学支援新制度

この制度は，意欲ある子どもたちの進学を支援するため，入学料及び授業料の免除と，返還を要しない給付奨学金を支給するもので，大学等における修学の支援に関する法律に基づき実施されるもので，本学では，この制度が適用されます。
応募資格等制度の詳細は，文部科学省高等教育の修学支援新制度ホームページ及び日本学生支援機構給付奨学金ホームページをご確認ください。

○文部科学省ホームページ
https://www.mext.go.jp/kyufu/index.htm

○日本学生支援機構ホームページ（給付奨学金）
https://www.jasso.go.jp/shogakukin/kyufu/index.html

◆奨学金制度

日本学生支援機構の奨学金には，上記「高等教育の修学支援新制度」による給付奨学金の他に，貸与奨学金があり，学力や家計状況等により選考が行われます。
応募資格や貸与月額等の詳細は，日本学生支援機構ホームページをご確認ください。

○日本学生支援機構ホームページ（貸与奨学金）
https://www.jasso.go.jp/shogakukin/seido/index.html

なお，日本学生支援機構の奨学金の他に，地方公共団体などの奨学金もあります。
本学において実績のある奨学事業団体は，本学公式ホームページをご確認ください。

○九州工業大学ホームページ（各種奨学金）
https://www.kyutech.ac.jp/campuslife/scholarship.html#03

高等教育の修学支援制度による入学料・授業料免除制度，奨学金制度等に関する問合せ先
担当窓口：学生支援課学生生活支援係　電話 093-884-3050

１７．入学試験成績等の開示

令和８年度第３年次編入学生選抜に係る受験者の個人成績等を，下記のとおり開示します。

区分	内容・方法等
開示対象	①入学試験成績 ②出身学校長作成の調査書
開示内容	①入学試験成績 合 格 者：順位を開示します。 不合格者：合格最低順位から１０位きざみのランクで開示します。 ②出身学校長作成の調査書 客観的な数字，成績，休学等の記録を開示します。 ただし，「学習についての所見」等，教員が自由に記述した部分を除きます。
申込期間	令和７年９月１日（月）から令和７年９月１２日（金）【必着】まで。 ただし，土・日は除きます。
請 求 者	受験者本人に限ります。（代理人による申し込みは認められません。）
申込方法	本学所定の申込様式を，ホームページ（令和７年８月掲載予定）で入手し，九州工業大学受験票及び切手を貼った返信用封筒（長形３号 120 ㎜×235 ㎜）を添付のうえ，郵送で申し込んでください。令和７年９月１２日（金）１７時までに到着したものに限り受理します。 ○入試に関する重要なお知らせ https://www.kyutech.ac.jp/examination/
開示方法	受付から約２０日以内に，受験者本人へ簡易書留郵便で郵送します。
そ の 他	令和７年度以前の入学者選抜に係る個人成績は開示しません。

※　入試成績等情報の開示に関する詳細については，入試・教育接続課入試係（電話：093-884-3056）に問い合わせてください。

１８．個人情報の取扱い

本学が入学者選抜を通じて取得した個人情報及び入学手続時に提出していただく書類に記載されているすべての個人情報は，本学における次の業務に利用します。

（１）入学者選抜及び入学手続に関する業務。
（２）教務関係（学籍管理，修学指導及び教育課程の改善等）に関する業務。
（３）学生支援関係（健康管理，入学料免除，授業料免除，入学料徴収猶予，奨学金及び就職支援等）に関する業務。
（４）入学者選抜及び大学教育の改善に関する調査・研究に関する業務。ただし，調査・研究結果の発表に際しては，個人が特定できないように処理します。
（５）その他，個人が特定できない形式で行う統計に関する業務。

※　一部の業務については，本学より委託を受けた外部の業者において行うことがあります。
※　取得した個人情報は，「個人情報の保護に関する法律」及び「国立大学法人九州工業大学個人情報の保護に関する規則」に基づき，適切に取り扱います。

１９．入学試験に関する問い合わせ先

情報工学部の編入学生選抜に関する照会については，月曜日から金曜日（ただし，祝日を除く。）の８時３０分から１７時１５分までの間に，下記に問い合わせてください。

＜問い合わせ先＞
〒820-8502　福岡県飯塚市川津 680-4
九州工業大学大学院情報工学研究院教務学生支援課教務係（飯塚キャンパス）
電話　0948-29-7519

※不測の事態発生時等における諸連絡

災害など不測の事態が発生し，入学試験を予定どおりに実施できない場合の対応については，本学のホームページ等により周知しますので，注意してください。

また，不測の事態等（大規模な災害・交通機関の遅延等）により受験できない恐れのある者は，上記の問い合わせ先に連絡してください。

○入試速報
https://www.kyutech.ac.jp/successful

２０．安全保障輸出管理

九州工業大学では，「外国為替及び外国貿易法」に基づき，「九州工業大学安全保障輸出管理規程」を定め，外国人留学生等の受け入れに際して厳格な審査を実施しています。

規制事項に該当する場合は，希望する教育が受けられない場合や研究ができない場合がありますので，注意してください。

なお，詳細については，下記のホームページを参照してください。

○九州工業大学安全保障輸出管理
https://www.kyutech.ac.jp/exchange/anpo.html

２１．ノートパソコンの必携

九州工業大学では，非常に多くの授業でパソコンを用いた演習が行われており，演習以外でも電子データでの教材配布やレポート提出などパソコンの利用が必須となっています。このことから，本学に入学するすべての学生を対象にノートパソコンの必携化を実施し，入学までに準備いただく各個人所有のノートパソコンを大学や自宅での学修に利用していただきます。学部によりスペック要件が異なりますので，本学ホームページで詳細をご確認のうえ，ご準備ください。

なお，本制度に伴う経済的支援についても，本学ホームページに掲載しています。

○ノートパソコン必携化のおしらせ
https://www.kyutech.ac.jp/student-cheer/kyutech_byod.html

２２．キャンパス全面禁煙

九州工業大学では，学生並びに教職員の疾病予防，健康の維持・増進，さらには快適な学習・職場環境づくりを推進していくために，全キャンパスを全面禁煙としています。なお，詳細については，下記のホームページを参照してください。

○キャンパス全面禁煙宣言
https://www.kyutech.ac.jp/information/nonsmoking.html

２３．アドミッションポリシー

情報工学部

情報工学部は，昭和６１年（１９８６年）に日本初の情報工学部として設置されました。以来３０年，１万人を超える情報通信技術者を生みだし，卒業生は，様々な分野で日本の情報通信革命を支えてきました。

本学の入学者受入方針に加え，特に，「情報」をキーワードとして，知能情報工学科，情報・通信工学科，知的システム工学科，物理情報工学科，生命化学情報工学科の５学科のそれぞれの分野において，高度な専門技術を身につけた人材を養成します。そのため，将来の科学と技術の進歩にも十分対応できる基礎学力と情報化社会をリードする専門性を身につける教育を各学科において行います。さらに，「技術に堪能なる士君子」という本学の建学の精神のもとに，幅広い教養や豊かな人間性，技術者としての高い倫理観，そしてグローバル社会で活躍できるコミュニケーション能力を備えた技術者の育成をめざしています。

【求める学生】

情報工学部では全学アドミッションポリシーに加えて入学時点で下記の 2 点を持つ人材を求めます。

(1)数学，理科（物理，化学，生物等），情報などの理数系科目の基礎学力をもつ人
(2)科学と技術，特に情報工学及びそれを用いた先端技術に興味があり，それらを用いて世の中を変えていくことや社会の問題を解決することに強い関心と意欲をもつ人
(3)国際社会と文化に興味と関心をもち，グローバル化に対応するコミュニケーション能力の修得に意欲をもつ人
(4)ものごとを論理的に表現でき，自律的に学び，多様な人々と協働して活動する態度を身につけている人

【第３年次編入学生選抜による受け入れ】

本学部での授業内容を理解するために，他の大学，高等専門学校，短期大学等における数学，自然科学，工学基礎及び専門工学を特に学んでおくことを望みます。３年次編入が可能な基礎学力を有しているとともに，他の大学，高等専門学校，短期大学等で得た知見を生かして，さらにその能力を高める意欲を持ち，高度技術者を強く志向する学生を受け入れるために，次の選抜を実施します。

推薦選抜

推薦書及び調査書により主に(1)，(2)の，自己申告書等により主に(2)，(3)，(4)の，必要に応じて面接により(1)，(2)，(3)，(4)の視点から評価し，基礎学力並びに適性，意欲等を総合的に確かめます。

一般選抜

調査書により主に(1)，(2)の，自己申告書等により主に(2)，(3)，(4)の，面接により(1)，(2)，(3)，(4)の視点から評価し，基礎学力並びに適性，意欲等を総合的に確かめます。

（学科別の育成目標）
情報工学部入学者受入方針に加え，特に次のような人材を育成します。

知能情報工学科

コンピュータサイエンスの専門知識に加え，大量のデータから規則や知識を見出すデータ科学，コンピュータを知的に動作させる人工知能，メディアをコンピュータとの対話に利用するメディア情報学を駆使する能力を身に付け，言葉や映像など様々なメディアを通して，人とコンピュータが協調する新しい情報システムを実現できる高度情報技術者を養成します。

情報・通信工学科

人・物（センサーやアクチュエータ）が情報を介して相互に連携し協調することにより，あらゆる産業分野のすべての局面での高度な ICT（情報通信技術）利活用が実現される次世代スマート社会を支えるために，コンピュータ（ハードウェア・ソフトウェア）と通信を深く理解し，総合的な情報システムを設計・開発・運用する能力を持つ技術者を養成します。

知的システム工学科

情報技術と画像技術，制御技術，機械技術が融合されて構築される，ロボット，インテリジェントカー，スマートグリッド，マイクロ機械などの先進的なシステムの開発によって，人と未来を繋ぐ，社会情報システムや産業活動を生み出していける新たな知的システムを実現できる技術者を養成します。

物理情報工学科

情報工学と物理工学とを融合した，イノベーションにつながる物理情報工学を学ぶ学科であり，超伝導体や半導体のようなエレクトロニクス材料，生物を含むソフトマター，光技術，ナノテクノロジー，計測技術を含む広義の物性科学・工学分野を対象に，情報工学と物理工学を双方向に利活用し，新たな物性科学・工学分野を切り拓くことができる技術者を養成します。

生命化学情報工学科

生物学及び化学と情報工学の融合をはかり，幅広いバイオ分野すなわち医療・製薬・飲食品・化学・環境・バイオ素材などの領域に，情報工学の知識と技術を利活用でき，また，情報工学の発展に寄与できる能力をもち，ヒトに関わる新産業分野を構築することができる人材を養成します。

◆各種の資格等

【情報工学部】

卒業後，該当学科については次のような資格を得ることができます。

※法改正等により，一部条件に変更が生じる場合があります。

種　類	該　当　学　科	備　　考
高等学校教諭一種 免許状（情報）	全学科	本学には教職課程が設置されており，教育職員免許法に定める所定の単位を修得すれば，免許状を取得することができます。 編入学生で免許状を取得しようとする者は，通常の場合２年間で，必要な科目の単位を修得することになるので，入学後のなるべく早い時期に履修計画を立てることが必要です。 なお，編入学時に認定された単位が，免許状取得に必要な科目の単位としては認められないことがあるので教務係に確認してください。
技　術　士	全学科	第一次試験が免除され，「修習技術者」となることができます。（JABEEの認定を継続するか検討中です。入学後に確認してください。）

◆大学院

本学には,大学を卒業したのち，さらに深く専門分野について研究しようとする者のために，大学院が設けられています。大学院の課程は，博士前期課程（修業年限２年）及び博士後期課程（修業年限３年）です。

◆厚生施設

大学構内にはキャンパス毎に，学生及び教職員の福利厚生の増進を図ることを目的とした施設があります。食堂，売店（書籍，文房具等）等

◆学生の国際交流

九州工業大学はグローバルな学生をバックアップします。

国際交流

本学では，３１カ国・地域，１２２大学・機関（２０２５年２月２８日現在）との間で協定を締結し，国際交流を積極的に推進しています。

国際交流協定校への１年以内の交換留学制度があり，本学に授業料を納付することで，留学先の大学では授業料が免除されます。専門科目を履修し，取得した単位を本学で認定することが可能です。交換留学に関わる出発前の手続き，危機管理情報の提供，留学中の相談など，本学が派遣学生を全面的にバックアップします。

交換留学以外に，多くの協定校との交流を活用した，本学独自のさまざまな海外派遣プログラムを提供しています。（独）日本学生支援機構による海外留学支援制度も積極的に活用し，経費の一部を補助しています。海外派遣プログラムでは，海外での安全教育を含む，事前・事後学習を行っており，教育効果をさらに高める工夫を行っています（下記「学生の海外留学」参照）。

２０１３年４月から，本学の協定校であるマレーシアプトラ大学キャンパス内に，海外教育研究拠点（MSSC）を設置しました。MSSC を活用した学生派遣プログラムや，マレーシアの企業で研修を行なう国際インターンシップの実施等，学生のグローバル化を一層推進するとともに，マレーシア渡航学生をバックアップしています。

学生の海外留学

本学はグローバル化が加速する社会で活躍できる技術者（グローバル・エンジニア）に必要な能力（要素）をグローバル・コンピテンシーと定義し，グローバル・エンジニアを育成するために，在学中の海外での学習経験を推奨しています。在学中の海外での学習経験をより効果的なものとするために，以下の取り組みを実施し，学生の海外留学を支援しています。２０１９年度は，全学で３２ヵ国・地域 ７０６名が海外に派遣されました。さらに，２０２０年度よりオンライン留学にも力を入れ，海外に実際の渡航ができない状況でも異文化交流や協働学習ができる体制を整えました。２０２２年度からは，対面での交流ができない国とはオンラインプログラムを，渡航できる国へは留学を再開し，またオンラインと対面を組み合わせたブレンド型プログラムも実施しています。

- 海外での学習経験を効果的にするために，留学前後で事前・事後学習を実施
  実際に海外留学される前に，異文化適応の測定として簡単なテストの実施，派遣先で安全に過ごすための事前学習，さらに渡航国の文化の勉強やグループ演習等を行っています。また，海外留学後，期間中の経験や学習内容を比較する振り返りを実施し，留学前後の変化や今後の学生生活の目標等を発信する場として成果報告会を実施しています。
- 目標に沿った海外留学
  海外留学の目的は学生によって様々です。語学力向上や海外での研究，海外の日本企業へのインターンシップなど，本学では学生の目的に応じて，適切な留学メニューを学生に提供しています。
- 奨学金支給
  本学では，渡航地域に応じた奨学金支給を行っています。

その他，様々な支援を行っています。詳細は各キャンパスの学生係にお問い合わせください。

国際研修館【工学部】

国際的に活躍できる技術者になるためには，高い専門性に加え，実践的な英語力を伴った国際感覚と幅広い視野を持つ必要があります。本学では，国際的に通用するリーダーを育成するために，日本人学生と留学生が混住する国際研修館を設け，教育プログラムを実施しています。

ランゲッジ・ラウンジ【工学部】

本学では，国際的なコミュニケーション能力を高める取り組みとして，国際経験の豊富な専門のスタッフによるサポートを充実させ，日本人学生と留学生が相互に交流できるランゲッジ・ラウンジを戸畑キャンパスに設置しています。

グローバルコミュニケーションラウンジ【情報工学部】

本学では，国際的なコミュニケーション能力を高める取り組みとして，国際経験の豊富な専門のスタッフによるサポートを充実させ，日本人学生と留学生が相互に交流できるグローバルコミュニケーションラウンジを飯塚キャンパスに設置しています。

令和６年３月　九州工業大学　卒業者（学部）進路状況

(R6.5.1現在)

※　各欄の上段（　）内数字は、女子で内数

学部	学科等	建設業	製造業						情報通信業	運輸業、郵便業	卸売業、小売業		金融業	専門・技術サービス業	サービス業	地方公務	就職者合計	就職率	大学院進学者	専門学校等入学者	その他	合計
			化学工業、石油・石炭製品製造業	はん用・生産用・業務用機械器具製造業	電子部品・デバイス・電子回路製造業	電気・情報通信機械器具製造業	輸送用機械器具製造業	その他の製造業			卸売業	小売業										
情報工学部	電子情報工学科						1		1						1		(0) 3	100.0				(0) 3
	機械情報工学科					1											(0) 1	100.0				(0) 1
	生命情報工学科								(1) 1								(1) 1	100.0				(1) 1
	知能情報工学科			(1) 1			2		(7) 25				2	2		1	(8) 33	100.0	(6) 65		3	(14) 101
	情報・通信工学科			2	(1) 1		1		(7) 31						2	(1) 1	(9) 38	100.0	42	1		(9) 81
	知的システム工学科	1		2	2	(1) 2	3	(1) 2	(4) 13		1	1	(1) 1	1	(2) 5		(9) 34	100.0	(5) 55			(14) 89
	物理情報工学科	1		(1) 3	2	2	1		(1) 11	1					3	1	(2) 25	100.0	(7) 37		1	(9) 63
	生命化学情報工学科		(1) 2	1			1	1	(11) 24			(1) 1	1		3		(13) 34	100.0	(8) 37			(21) 71
	情報工学部合計	(0) 2	(1) 2	(2) 9	(1) 5	(1) 5	(0) 9	(1) 3	(31) 106	(0) 1	(0) 1	(1) 2	(1) 4	(0) 3	(2) 14	(1) 3	(42) 169	100.0	(26) 236	(0) 1	(0) 4	(68) 410

※　「就職率」の欄は，就職希望者に占める就職者の割合。

※　「専門学校等入学者」の欄には，大学に学士入学・編入学する者や研究生として入学する者等も含む。

※　「その他」の欄には，公務員・教員希望者，進学希望者，留学生で母国に帰国する者，等を含む。

※　旧コースの人数は，該当する新コース分野の人数に含む。

◆学部の案内

情報工学部

情報工学部は１９８６年に創設された日本初の情報工学部であり，現在も国立大学では唯一の情報工学部です。

創設３０周年を迎えた現在，社会のニーズに柔軟に対応できる体制を取り，自分自身の適性を見極めながら専門分野を選択することができるように，また，これまでの情報工学部の特色を生かして強みを強化するために，２０１８年度（平成３０年度）から新たな５学科に生まれ変わり，また，各学科に専門分野に対応するコースを設置しています。

知 能 情 報 工 学 科	
人が考えて操作するだけでなく，人が考えることをサポートするような，「知的」な情報システムの実現を目指す知能情報工学科。ことば，音声，映像などのさまざまなメディアを介して，あたかも人が考えているかのように振る舞い，また，人が思いもよらないことを生み出すような，「人とコンピュータが協調する」ための新しい情報技術を確立できる人材の育成を目指しています。 そのために知能情報工学科では，コンピュータ・サイエンスの専門知識に加えて，日々蓄積されている大量のデータの中から人の役に立つ規則や新たな知識を発見する「データ科学」，人のように考え，話し，教える「人工知能」，人のように認識し，人にわかりやすく伝える「メディア情報学」という３つの専門分野の基本理論から応用・実践までを学びます。 卒業後は，大学院に進学するほか，コンピュータメーカーや通信，ソフトウエア産業をはじめ幅広い分野での活躍が期待されます。	
データ科学コース	数理統計や人工知能などに基づいた，さまざまなデータから規則や知識を抽出するための手法を開発し，それらを効率化，高精度化，汎用化する能力を養い，データ科学に総合的に取り組む人材を育成します。将来はビッグデータの解析・活用などデータの意味や質を扱うデータサイエンティストやシステムエンジニアとして，幅広い産業分野での活躍が期待されます。
人工知能コース	人の意図を理解し，知的活動を支え，人と対話する情報処理システムを開発できる高度情報処理技術者を養成します。基礎となる問題解決・探索・知識表現・プランニング・推論・自然言語処理などの知識や，学習・論理プログラムなどの技術を身につけます。将来，知的処理や人工知能に強みを持つエンジニアとして，コンピュータメーカーやソフトウエア産業などでの活躍が期待されます。
メディア情報学コース	音声・画像・動画などさまざまなメディアを処理する知識や技術を身につけ，メディアの協議・理解，VR（バーチャルリアリティ）やAR（拡張現実）を用いた高度なユーザインターフェース，コンピュータービジョンの応用技術を含む情報処理システムを開発できる技術者を養成します。将来は，主にメディア情報処理やゲーム開発などの分野で活躍が期待されます。

情 報 ・ 通 信 工 学 科

産業や生活を含めて，人や物が情報を介して相互に連携し協調するための高度な ICT（情報通信技術）の利活用は，現代社会では必要不可欠です。そのような「次世代スマート社会の実現」を支えるために，情報・通信工学科では，ハードウェアとソフトウェアのコンピュータ技術と情報通信技術を身につけた人材の育成を目指します。

そのために情報・通信工学科では，セキュリティやクラウド，組込みシステム技術を基にさまざまな情報システムを開発する「ソフトウェアデザイン」，コンピュータやモバイルネットワークでの有線・無線技術や通信・ネットワーク技術を身につける「情報通信ネットワーク」，コンピュータの心臓部をなすLSI（大規模集積回路）の設計・開発やこれらを活用したシステムを設計・開発する「コンピュータ工学」という３つのコースを設けています。

コンピュータと通信を深く理解することで，卒業後は，大学院に進学するほか，情報システムを設計・開発・運用する総合的な能力を身につけた，ICT 社会を主導する専門技術者としての活躍が期待されます。

ソフトウェアデザインコース	さまざまな業務分野のエンタープライズ系情報システムや，それらを支える基幹システム，あるいは組込みシステムなどのハードウェアと直接関わるソフトウェアの開発において，プロジェクトの中核となるソフトウェア技術者を養成します。将来は，情報系企業における情報システム開発や，電子機器，自動車などの製造業における組込み機器開発といった分野での活躍が期待されます。
情報通信ネットワークコース	多様な有線・無線通信を行う情報ネットワークや分散システムにおいて，各モデル階層（通信機能を階層構造に分割したモデル）の設計・実装・制御・分析に必要な技術を習得し，情報・通信機器，通信システム，ネットワークインフラ，総合的な情報システムの設計から開発・運用まで学びます。将来は主に情報・通信機器メーカーの研究開発部門などで，活躍の道が開かれています。
コンピュータ工学コース	コンピュータの動作原理を深く理解した上で，心臓部をなす LSI の設計・開発を学び，さらにそれらを応用した組込み機器やコンピュータシステムの設計・開発，コンピュータを利用した効率的な問題解決手段の開発などにも取り組みます。製造業全般，情報・通信業において，半導体・電子回路・情報システム・組込みシステムなどの設計開発の即戦力となる技術者を育成します。

知 的 シ ス テ ム 工 学 科

社会の抱えているさまざまな問題に対して，人と未来を繋ぐ新しいシステムの実現を目指す知的システム工学科。情報工学とロボット技術，システム制御技術，機械工学をそれぞれ融合した，知的システムを構築できる人材の育成を目指しています。

そのために知的システム工学科では，高度なロボットの応用技術と ICT 基盤技術を統合・包括する「ロボティクス」，高い性能と品質が求められる分野におけるシステム制御を理論から応用まで学ぶ「システム制御」，マイクロ／ナノ技術や３Ｄデザインを基盤とする高度な機械・情報工学の基礎から応用まで学ぶ「先進機械」の３コースを設けています。そして，情報・画像・制御・機械技術の融合によって構築されるロボット・インテリジェントカー，医療用マイクロマシンや超精密マイクロ加工・計測・3D プリンティングなど，先進的なシステムの設計・開発を学びます。

卒業後は，情報工学の知識を生かした，自動車，重工業，鉄鋼などの機械系，家電，半導体，光学機器などの電機系，情報インフラ，生産情報システム，デジタル・エンジニアリングなどの情報系などの幅広い分野で，新たな知的システムを創出できる技術者としての活躍が期待されます。

ロボティクスコース	ロボティクスの基礎から応用まで総合的に学び，それぞれを ICT 基盤技術と統合・包括する能力を養い，生活の質，労務代替を担うサービス・ソーシャルロボット，フィールドロボットの分野でロボティクス技術を活用できる人材を育成します。将来は，幅広い産業分野，社会システム全般における高性能なロボティクスシステムの研究・開発を行える人材として活躍が期待されます。

システム制御コース	制御工学と情報工学の知識と技術を身に着け，高度情報化社会を支えるシステム設計・開発に寄与し，ものづくりの即戦力となる技術者を養成します。将来は，ロボット，メカトロニクス，自動車，電機・電力，生物システム，輸送システム，医療・福祉，エネルギー，環境などの分野で，特に高い性能と品質を求められるシステムの制御を担う技術者として，活躍の場が広がっています。
先進機械コース	情報工学と機械工学をそれぞれ融合した次世代の先進機械システムを設計・構築できる技術者を育成します。将来は，機械工学の知識が求められる自動車，重工業，鉄鋼，家電，半導体，光学機器，エネルギー，環境などの分野や情報工学の知識が求められる情報インフラ，生産情報システム，デジタル・エンジニアリングなどの分野で，機械と情報を融合した次世代の知的システムの研究・開発を担う技術者として，活躍の場が開かれています。

物 理 情 報 工 学 科

物理情報工学科では，自然界の普遍的な法則を探求する物理学と，生命の普遍的な法則を探求する生物学，そこに情報・システム技術としての情報工学を融合した教育と研究を通して，さまざまな分野での技術革新（イノベーション）につなげる融合領域研究を切り拓くことができる技術者の育成に力を入れています。

そのために物理情報工学科では，物理学，エレクトロニクス，情報工学を駆使し，電子材料，光システム，流体制御を中心とした情報化社会で必要とされる新たな技術を生み出す「電子物理工学コース」と，物理学，生物学，情報工学を駆使し，新素材・材料，計測システム，生命科学を中心とした学際領域の新たな技術を生み出す「生物物理工学コース」を設けています。

卒業後は，大学院に進学するほか，情報通信産業，総合電機，環境・エネルギー，自動車，精密機器，ナノテクノロジー，材料・素材，音響，医歯薬，食品，化粧品などの幅広い分野で，イノベーションを創出する技術者としての活躍が期待されます。

電子物理工学コース	超伝導や半導体などのエレクトロニクス材料，光・レーザーシステム，電磁流体力学などの研究分野を中心に，物理・電子物理工学と情報工学を利活用して，新技術を生み出す技術者を養成するための教育と研究を行います。そのために，物理学，電子物理工学，ナノテクノロジー，計測技術及び情報工学分野の知識と技術を多岐にわたって学びます。将来，主にエレクトロニクス，環境・エネルギー，光，電機，鉄鋼，電子・情報システムなどの多種多様な分野で，物理・電子物理工学・情報工学を融合して，革新的な研究や開発を行える技術者を育成します。
生物物理工学コース	金属などの硬い物質（ハードマター）とは対照的に，生体分子（タンパク質，DNA）・高分子・液晶・生体膜などの柔らかい物質（ソフトマター）や，それらで構成される生物・生命現象について，物理学と情報工学の観点から教育と研究を行います。そのために，生物学，物理学，計測・可視化技術，数理モデルを基にしたシステムデザインにつながる知識と技術を学びます。将来，新素材・材料，医歯薬，化粧品，食品，環境，計測技術，ナノテクノロジー，バイオテクノロジー，生命科学などの多種多様な分野で，生物・物理・情報工学を融合した学際領域の研究や開発を行える技術者を育成します。

生 命 化 学 情 報 工 学 科

生命の持つ働きをヒトの生活に役立たせるバイオテクノロジー。生命化学情報工学科では，医療，製薬，飲食品，化学，環境，バイオ素材など幅広いバイオ分野に，情報工学の知識と技術を融合させることで，ヒトに関わる新たな産業分野を構築できる人材の育成を目指します。

時代が求める情報工学と時代を切り拓く生物工学・生命科学を学ぶことで，それらを関連付けた新時代の技術の創出が可能となります。そのために生命化学情報工学科では，化学分野を含むバイオ分野への工業的応用としての情報システム・実験システムを構築することを目指した「分子生命工学」，生命科学と医療分野への応用としての情報システム・医療システムを構築することを目指した「医用生命工学」の２コースを設けています。

卒業後は，これからの「健康長寿社会」の基盤を支えると共に，新産業を生み出す技術者として，バイオ分野の企業や研究機関においての活躍が期待されます。

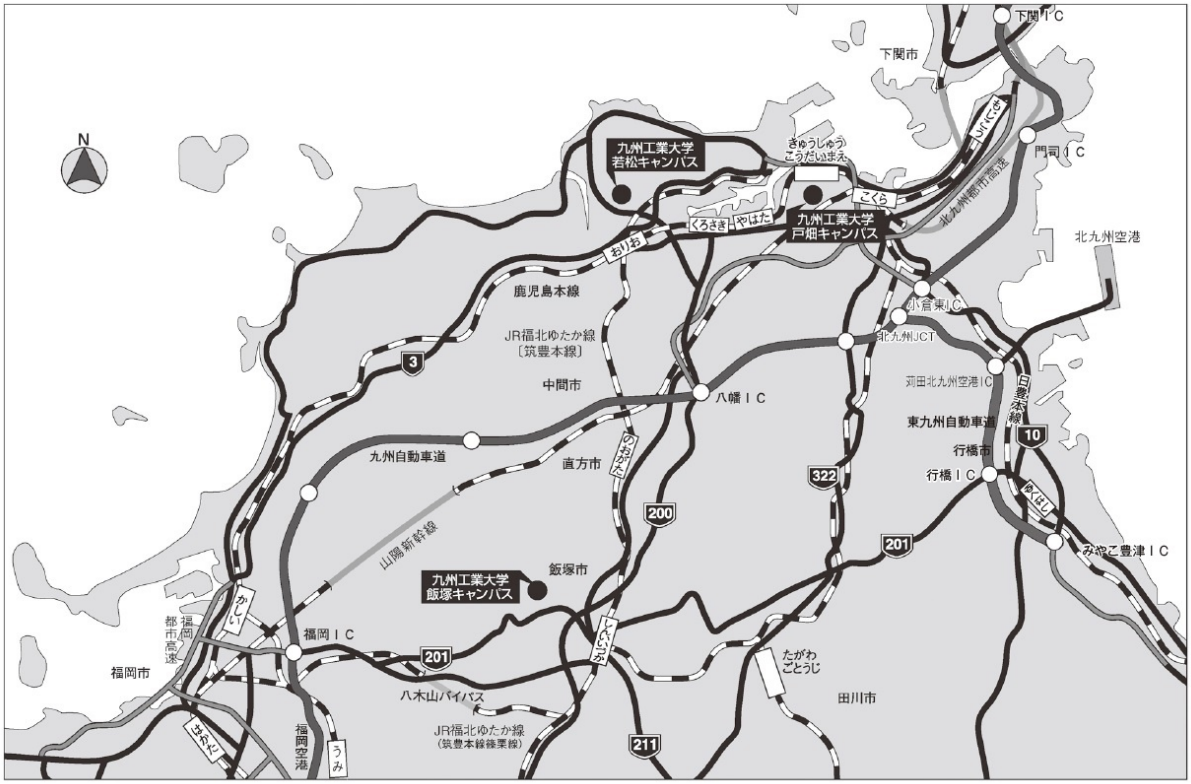
分子生命工学コース	人体・脳・臓器から細胞・生体高分子まで対象とする生物学やバイオテクノロジー，情報システム構築の知識・技術を学び，バイオ分野への工学的応用を指向し，情報システムや実験システムを構築できる人材を育成します。将来，ライフサイエンス・医歯薬・食品・化学・環境分野のメーカー，分析・計測器メーカーで，研究・開発システムをデザインする技術者として活躍が期待されます。
医用生命工学コース	バイオインフォマティクス，ゲノム科学，システム生物学，医用システムに関する知識や実験技術，情報処理技術を学び，生命科学・医療への応用を指向したシステムを構築し，新産業を生み出す能力を養います。ライフサイエンス・医歯薬分野のメーカーや関連のソフトウェア会社が求めるシステムエンジニア，データアナリスト（臨床データ・ゲノムデータ解析など）を育成します。

◆過去の編入学生選抜実施状況

学部・学科 ＼ 年度 ＼ 募集人員等		令和6年度					令和7年度				
		募集人員	志願者数	受験者数	合格者数	入学者数	募集人員	志願者数	受験者数	合格者数	入学者数
情報工学部	知能情報工学科	7	39	33	10	6	7	28	26	13	9
	情報・通信工学科	9	25	23	11	11	9	33	26	13	11
	知的システム工学科	9	20	17	12	11	9	16	15	10	4
	物理情報工学科	5	10	8	6	5	5	7	7	6	6
	生命化学情報工学科	5	19	18	7	6	5	9	9	7	6
合計		35	113	99	46	39	35	93	83	49	36

※合格者には，第2志望学科及び第3志望学科での合格者も含みます。

◆九州工業大学の所在地



IIZUKA

情報工学部（飯塚キャンパス）

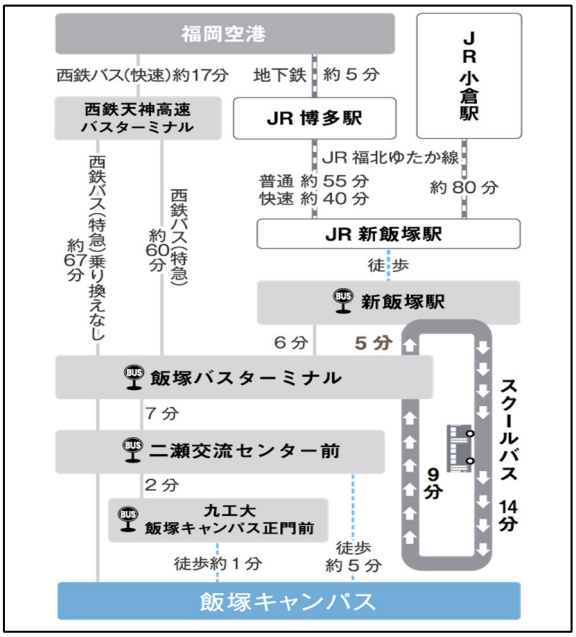
●所在／福岡県飯塚市川津680番4

◆試験場までのアクセス

九州工業大学情報工学部（飯塚キャンパス）　※情報工学部受験者の試験場

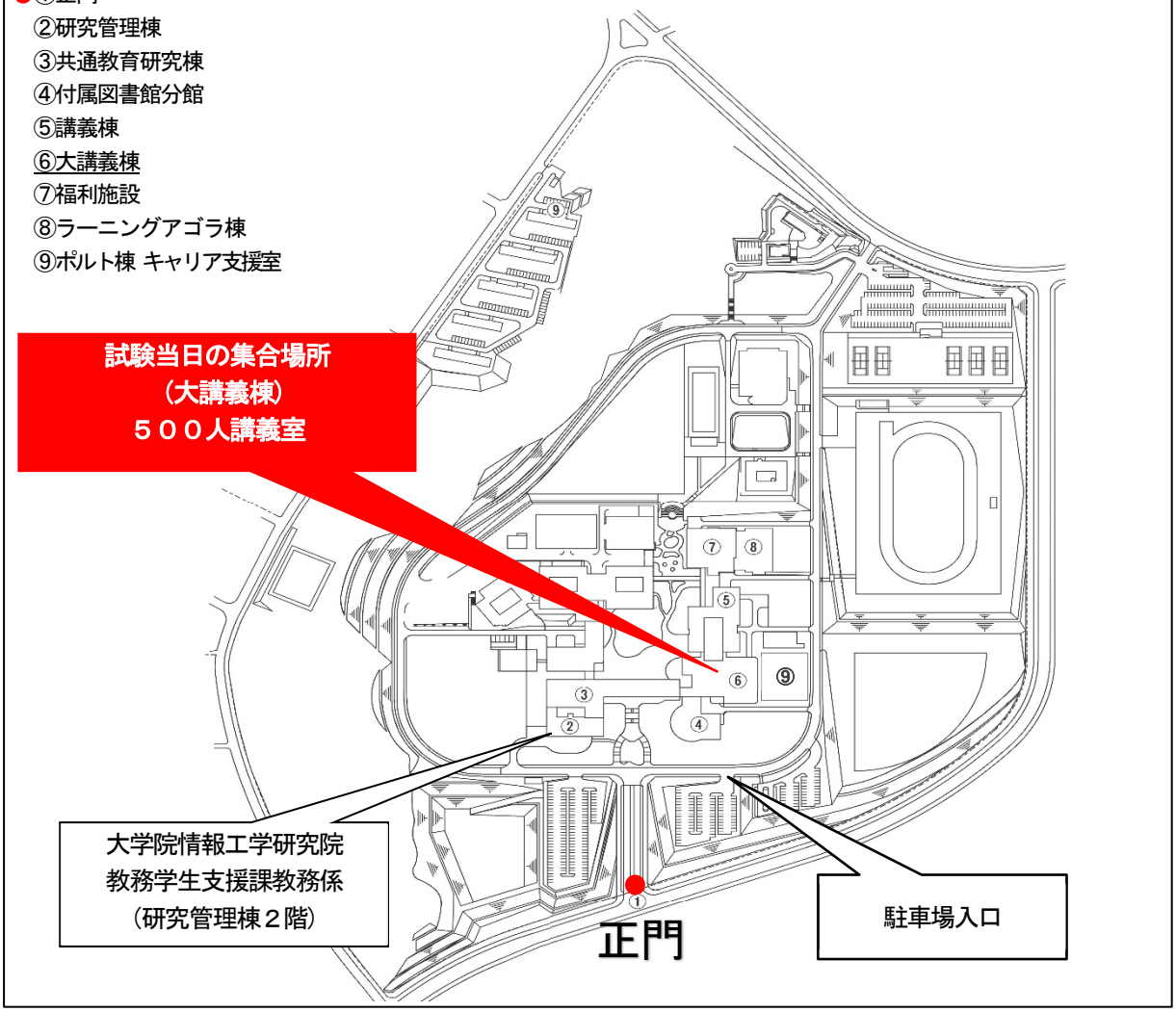
〒820-8502 福岡県飯塚市川津６８０番４（飯塚キャンパス　大講義棟）

【交通のご案内】



【キャンパスマップ】

●①正門
②研究管理棟
③共通教育研究棟
④付属図書館分館
⑤講義棟
⑥大講義棟
⑦福利施設
⑧ラーニングアゴラ棟
⑨ポルト棟 キャリア支援室



九 州 工 業 大 学

大学院情報工学研究院教務学生支援課教務係
〒820-8502　福岡県飯塚市川津 680-4
電話　0948-29-7519

入試・教育接続課入試係
〒804-8550　福岡県北九州市戸畑区仙水町１番１号
電話　093-884-3056